

## 赤坂御用地の鱗翅類

大和田守<sup>1)</sup>・有田 豊<sup>2)</sup>・神保宇嗣<sup>3)</sup>・岸田泰則<sup>4)</sup>・中島秀雄<sup>5)</sup>・  
池田真澄<sup>†</sup>・新津修平<sup>3)</sup>・慶野志保子<sup>6)</sup>

Mamoru Owada<sup>1)</sup>, Yutaka Arita<sup>2)</sup>, Utsugi Jinbo<sup>3)</sup>, Yasunori Kishida<sup>4)</sup>, Hideo Nakajima<sup>5)</sup>,  
Masumi Ikeda<sup>†</sup>, Shuhei Niitsu<sup>3)</sup> and Shihoko Keino<sup>6)</sup>:  
Moths and Butterflies of the Akasaka Imperial  
Gardens, Tokyo, Central Japan

赤坂御用地は東京都港区元赤坂にあり、面積約 51 ha の緑地である。1.5 km 東に皇居が、西には隣接して神宮外苑と新宿御苑があり、その西に広がる明治神宮と代々木公園とで、東京の都心部を東西に結ぶ大型緑地帯を形成している。この地で 2002 年 4 月から 2004 年 7 月まで、鱗翅類昆虫相を調査する機会を得たので、その結果を報告する。

採集した蛾類の標本資料はすべて標本にして国立科学博物館動物研究部に保存してあるが、重複品の一部は同定を担当した研究者の手元にある。

資料の同定にあたっては正確を期するため、それぞれのグループの専門家に同定の確認とともに不明種の同定をお願いし、情報をいただいた。マガリガ上科は大阪府立大学の広渡俊哉博士、ムモンハモグリガ科、ハモグリガ科、コハモグリガ科とカザリバガ科は阪南市の黒子 浩博士、スガ上科の一部とホソガ科は松本市の平野長男氏、ヒロズコガ科は共生科学の坂井 誠博士、アトヒゲコガ科のネギコガの一部は農業環境技術研究所の安田耕司博士、キバガ上科は鹿児島大学の坂巻祥孝博士と北海道大学の杉島一広氏、ハマキガ科は大阪芸術大学の駒井古実博士と大阪府農林技術センターの那須義次博士、トリバガ科は矢作川研究所の間野宏隆氏、ツトガ科のヤマメイガ亜科を秋田市の佐々木明夫氏、メイガ科のマグラメイガ亜科の一部を富山市の山中 浩氏、食草の菌類の同定は国立科学博物館の土居祥兌博士。調査に当たっては宮内庁庭園課の職員の方がたに大変お世話になった。マレーズトラップは東京医科歯科大学の篠永 哲博士からのものを使用させていただいた。トンボ類の調査を共に行った江戸川区の斉藤洋一・斉藤江美両氏には蝶類の採集の協力をいただき、国立科学博物館の友国雅章博士も半翅類の調査の際に採集されたものを提供いただいた。大阪府立大学の石井 実博士には大阪府の蝶類群集について、鳴門教育大学の小汐千春博士にはスジグロシロチョウの都区内での発

<sup>1)</sup> 国立科学博物館動物研究部 東京都新宿区百人町 3-23-1

Department of Zoology, National Science Museum, Hyakunincho 3-23-1, Shinjuku, Tokyo, 169-0073 Japan  
E-mail: owada@kahaku.go.jp

<sup>2)</sup> 名城大学農学部動物学研究室

Faculty of Agriculture, Meijo University, Nagoya

<sup>3)</sup> 東京都立大学大学院理学研究科

Graduate School of Science, Tokyo Metropolitan University

<sup>4)</sup> 宝仙学園中高等学校

Hosen-gakuen High School, Tokyo

<sup>5)</sup> 鶴見女学園中学・高等学校

Tsurumi-jogakuen High School, Yokohama

<sup>6)</sup> 東京都西東京市

Nishitokyo-shi, Tokyo

生状況を、また、自然環境研究センターの岸本年朗博士には「新宿御苑動物相調査報告書」についてご教示いただいた。また、国立科学博物館の久居宣夫氏と矢野 亮氏には、自然教育園や皇居の鱗翅類について日ごろ情報をいただいているし、上野俊一博士には原稿を読んでいただき、ご意見を頂戴した。ここに記して、深く感謝の意を表する。

#### 調査方法と調査地点

灯火採集：大型の白幕の前に 100 W の水銀灯を 3 個、15 W と 20 W ブラックライト蛍光灯を 2 個ずつ点灯し、日没から 2 時間程度、飛来した蛾を採集した。ライトトラップの設置場所は調査前半を南側中央の寒香亭跡付近、後半を中央部の洗心亭跡付近 (Fig. 2) で行った。これに加えて、適宜園内を 4 W の蛍光灯をつけて巡回し、飛び出す蛾を採集している。

糖蜜採集：冬期、11 月から 3 月にかけて、黒砂糖をビールや酒類に溶かしたものを脱脂綿に浸して樹幹につけ、蛾を誘引した。2002–2003 年には寒香亭跡付近から中の池にかけて、2003–2004 年には洗心亭跡から心字池にかけて行った。また、サザンカやツバキの花に来ている蛾も注意して採集した。同時に、フユシクガ類の採集も行っているが、御用地内を広く巡回して蛾類を探索した。

昼の採集：御用地内を巡回しながら飛び出す成虫を採集するとともに、幼虫を探索し、飼育して成虫を羽化させた。また、トンボ類の調査を兼ねて斎藤洋一氏とともに、各池の周辺の蝶類を採集した。

マレーズトラップ：2002 年 9 月 26 日から 2003 年 10 月 14 日まで西側の御膳水跡の梅林 (Fig. 1) に設置し、1–3 週間の間隔で回収した。回収の日程は、同時に行った常盤松御用邸の日程とともに Table 1 に示した。トラップの設置は、両地とも大和田が行い、回収は大和田、新津、慶野が、回収した昆虫の目までのソートは新津と慶野が担当した。トラップの保存液は、混合比で 70%エタノール 17:ホルマリン 6:酢酸 2:水 28 の溶液を使用した。この溶液に浸かった鱗翅類は標本にすることが困難であるが、同定可能な大型個体は出来る限り取り出して針刺し標本としてリストに含め、採集データの末尾に MT と記し、普通の標本と区別した。

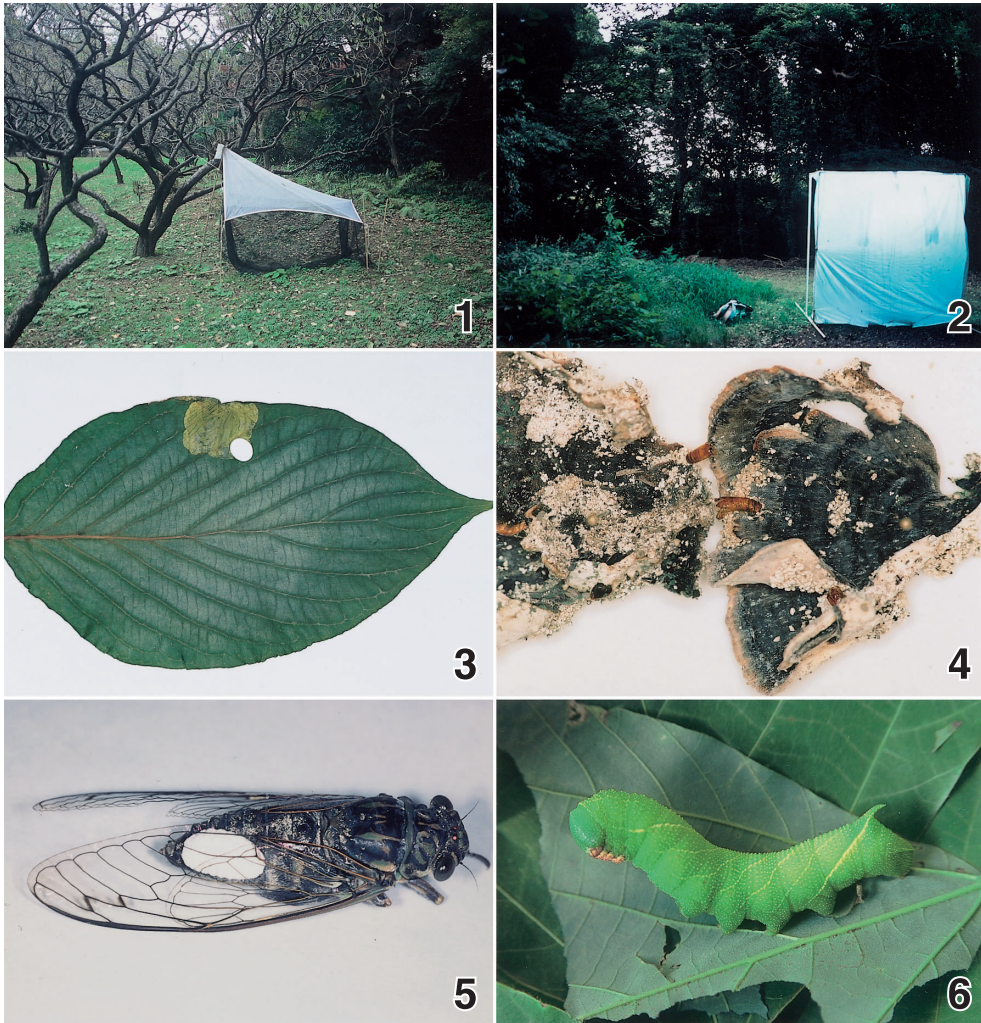
#### 調査日と調査員名

- 2002 年 4 月 30 日昼：大和田守・斎藤洋一  
 5 月 9 日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則・神保宇嗣・池田真澄  
 5 月 22 日昼：大和田守・斎藤洋一  
 5 月 23 日昼夜：有田 豊・大和田守・神保宇嗣・池田真澄  
 7 月 25 日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則・神保宇嗣・池田真澄  
 8 月 22 日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則・神保宇嗣・池田真澄  
 9 月 24 日夜：大和田守・岸田泰則・神保宇嗣・池田真澄  
 10 月 17 日昼夜：有田 豊・神保宇嗣  
 11 月 6 日昼：大和田守・斎藤洋一  
 11 月 20 日夜：大和田守・神保宇嗣  
 12 月 16 日夜：岸田泰則・神保宇嗣・池田真澄・中島秀雄  
 2003 年 1 月 21 日夜：大和田守・岸田泰則・神保宇嗣・中島秀雄・四方圭一郎  
 2 月 18 日夜：大和田守・中島秀雄  
 3 月 13 日夜：有田 豊・大和田守・中島秀雄  
 4 月 15 日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則・神保宇嗣  
 5 月 12 日夜：岸田泰則・神保宇嗣  
 6 月 24 日夜：有田 豊・大和田守  
 7 月 8 日昼：大和田守

Table 1. 赤坂御用地と常盤松御用邸のマレーズトラップ回収日.  
Malaise Trap collecting at the Akasaka Imperial Gardens and the Tokiwamatsu Imperial Villa,  
Tokyo.

赤坂御用地梅林 Akasaka Imperial Gardens	常盤松御用邸シイ林 Tokiwamatsu Imperial Villa
	2002年7月26日-8月15日
	2002年8月15日-8月30日
	2002年8月30日-9月12日
	2002年9月12日-9月26日
	2002年9月24日-10月11日
	2002年10月11日-10月28日
	2002年10月28日-11月11日
	2002年11月11日-11月25日
	2002年11月25日-12月6日
	2002年12月6日-12月24日
	2002年12月24日-3年1月6日
2002年9月26日-10月11日	2003年1月6日-1月21日
2002年10月11日-10月28日	2003年1月21日-2月5日
2002年10月28日-11月11日	2003年2月5日-2月18日
2002年11月11日-11月25日	2003年2月18日-3月4日
2002年11月25日-12月6日	2003年3月4日-3月18日
2002年12月6日-12月24日	2003年3月18日-4月1日
2002年12月24日-3年1月6日	2003年4月1日-4月15日
2003年1月6日-1月21日	2003年4月15日-4月28日
2003年1月21日-2月5日	2003年4月28日-5月13日
2003年2月5日-2月18日	2003年5月13日-6月4日
2003年2月18日-3月4日	2003年6月4日-6月10日
2003年3月4日-3月18日	2003年6月10日-6月17日
2003年3月18日-4月1日	2003年6月17日-6月24日
2003年4月1日-4月15日	2003年6月24日-7月1日
2003年4月15日-4月28日	2003年7月1日-7月8日
2003年4月28日-5月13日	2003年7月8日-7月15日
2003年5月13日-6月4日	2003年7月15日-7月22日
2003年6月4日-6月10日	2003年7月22日-7月29日
2003年6月10日-6月17日	2003年7月29日-8月6日
2003年6月17日-6月24日	2003年8月6日-8月12日
2003年6月24日-7月1日	2003年8月12日-8月19日
2003年7月1日-7月8日	
2003年7月8日-7月15日	
2003年7月15日-7月22日	
2003年7月22日-7月29日	
2003年7月29日-8月6日	
2003年8月6日-8月12日	
2003年8月12日-8月19日	
2003年8月19日-9月2日	
2003年9月2日-9月16日	
2003年9月16日-9月30日	
2003年9月30日-10月14日	

7月22日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則・神保宇嗣  
8月19日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則・神保宇嗣  
9月16日昼夜：有田 豊・大和田守・池田真澄  
10月21日昼夜：有田 豊・大和田守  
11月11日夜：大和田守・岸田泰則  
12月3日夜：大和田守・岸田泰則・中島秀雄  
12月17日夜：大和田守・岸田泰則・中島秀雄・慶野志保子



Figs. 1-2. 赤坂御用地の採集地点. 1, マレーズトラップ, 御膳水跡の梅林. 2, 灯火採集, 洗心亭跡付近.

Figs. 3-5. 赤坂御用地の蛾類. 3, キンモンツヤコガ *Antispila hikosana*, 潜孔, mine. 4, ウスマダラ オオヒロズコガ *Morphaga fasciculata*, 蛹殻, pupal cases. 5, セミヤドリガ *Epipomponia nawai*, ツクツクハウシに寄生する終齢幼虫, last instar larva on *Meimuna opalifera*. 6, トビイロスズメ *Clanis bilineata*, 終齢幼虫, last inster larva.

2004年1月7日夜: 大和田守・岸田泰則・慶野志保子

1月20日夜: 大和田守・慶野志保子

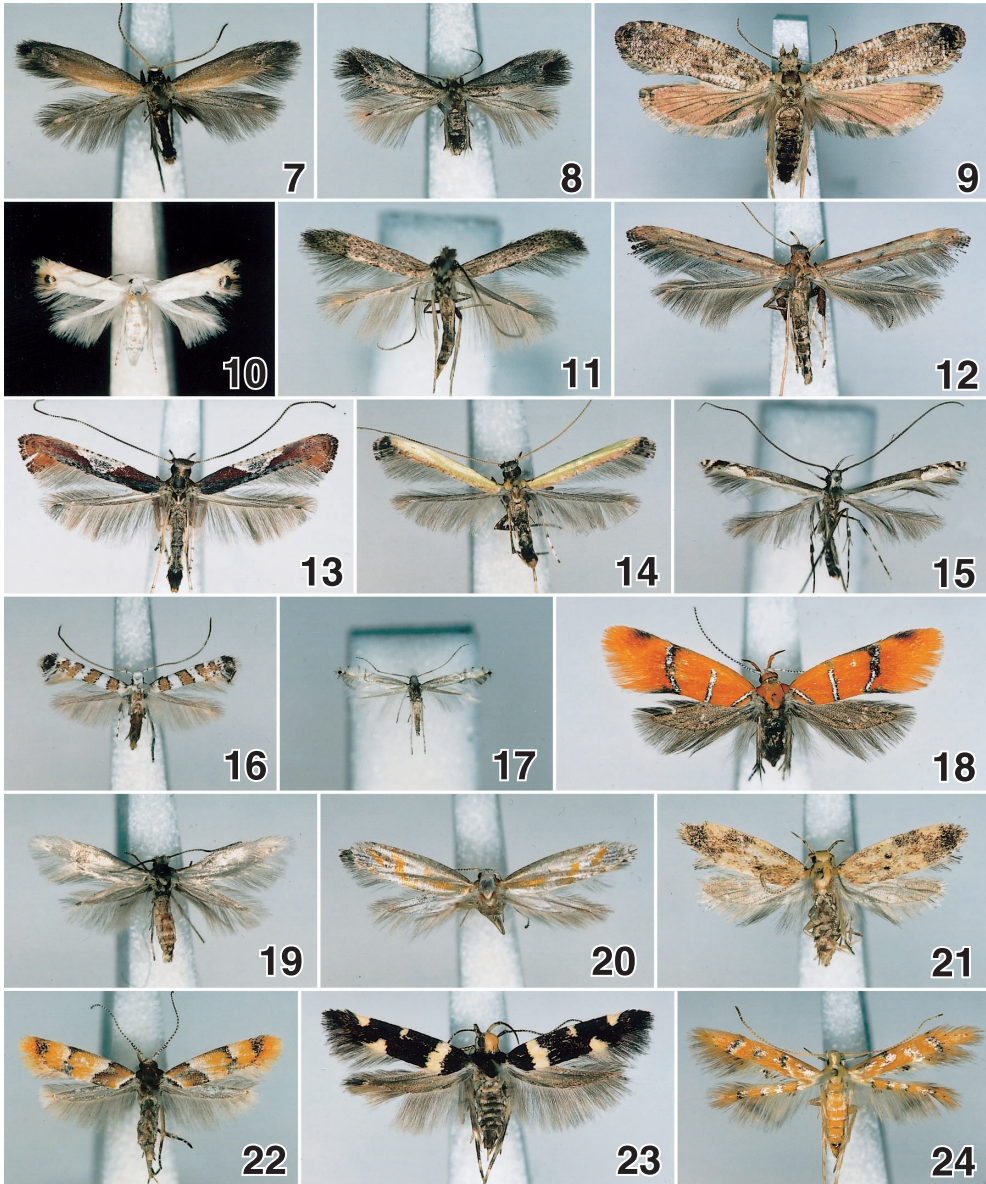
2月18日夜: 大和田守・中島秀雄・慶野志保子

3月2日昼夜: 有田 豊・大和田守

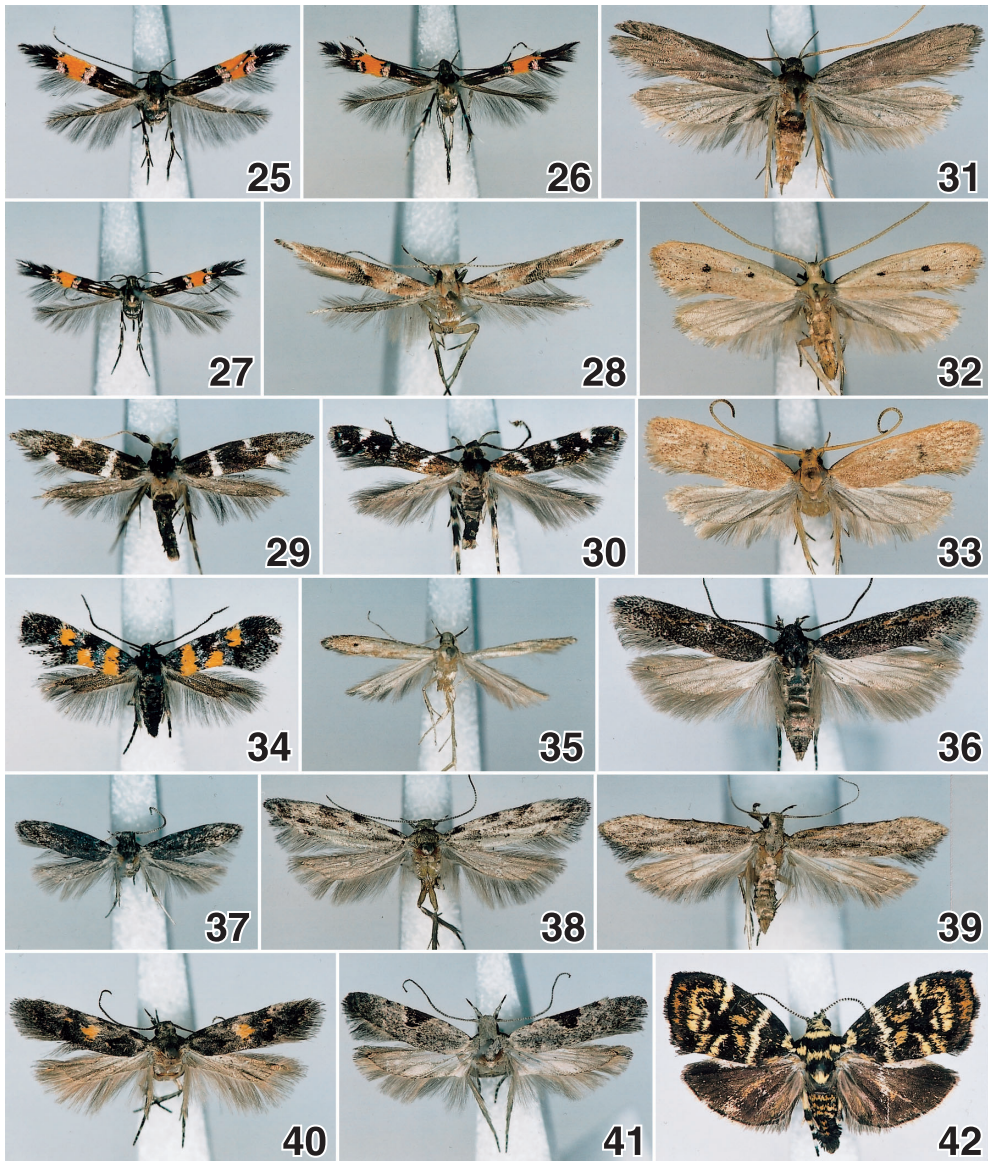
3月9日夜: 大和田守・慶野志保子

3月30日昼: 有田 豊・大和田守・慶野志保子

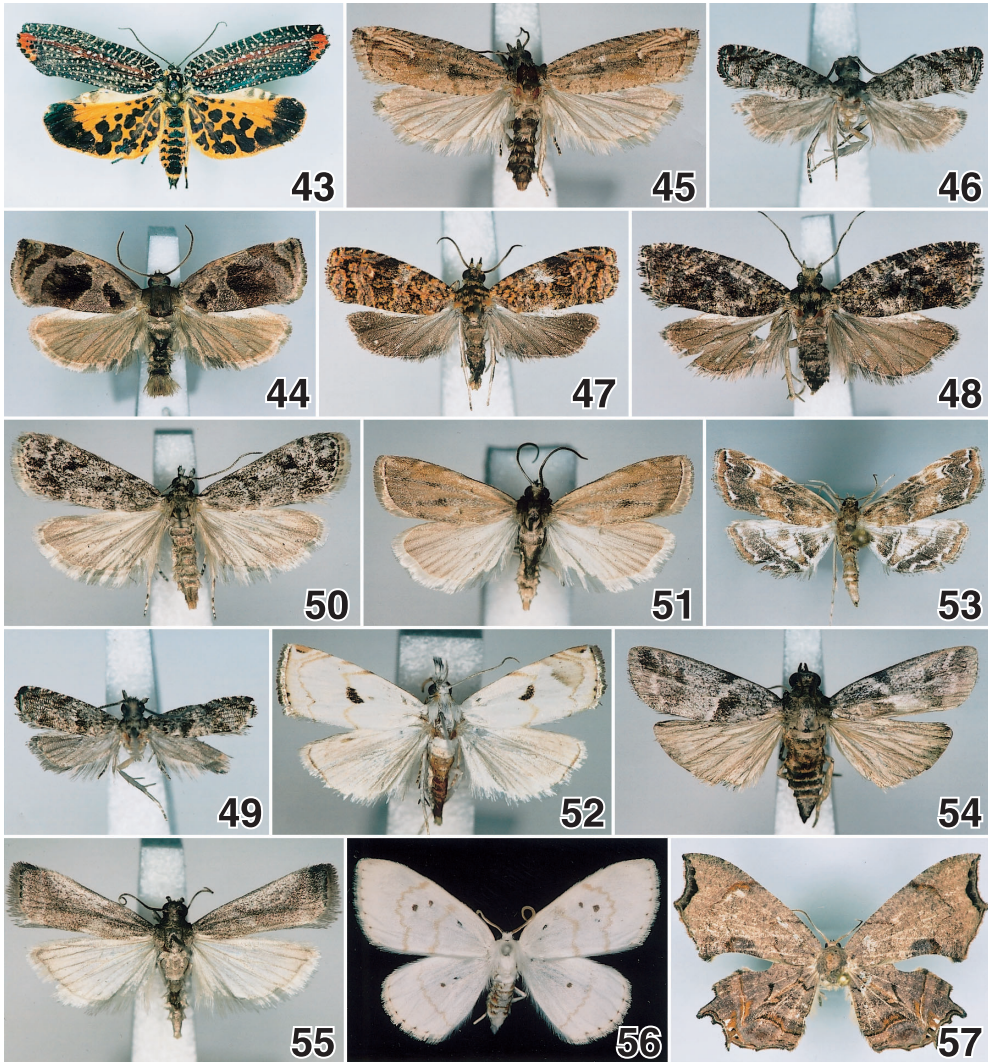
4月16日昼夜: 有田 豊・大和田守



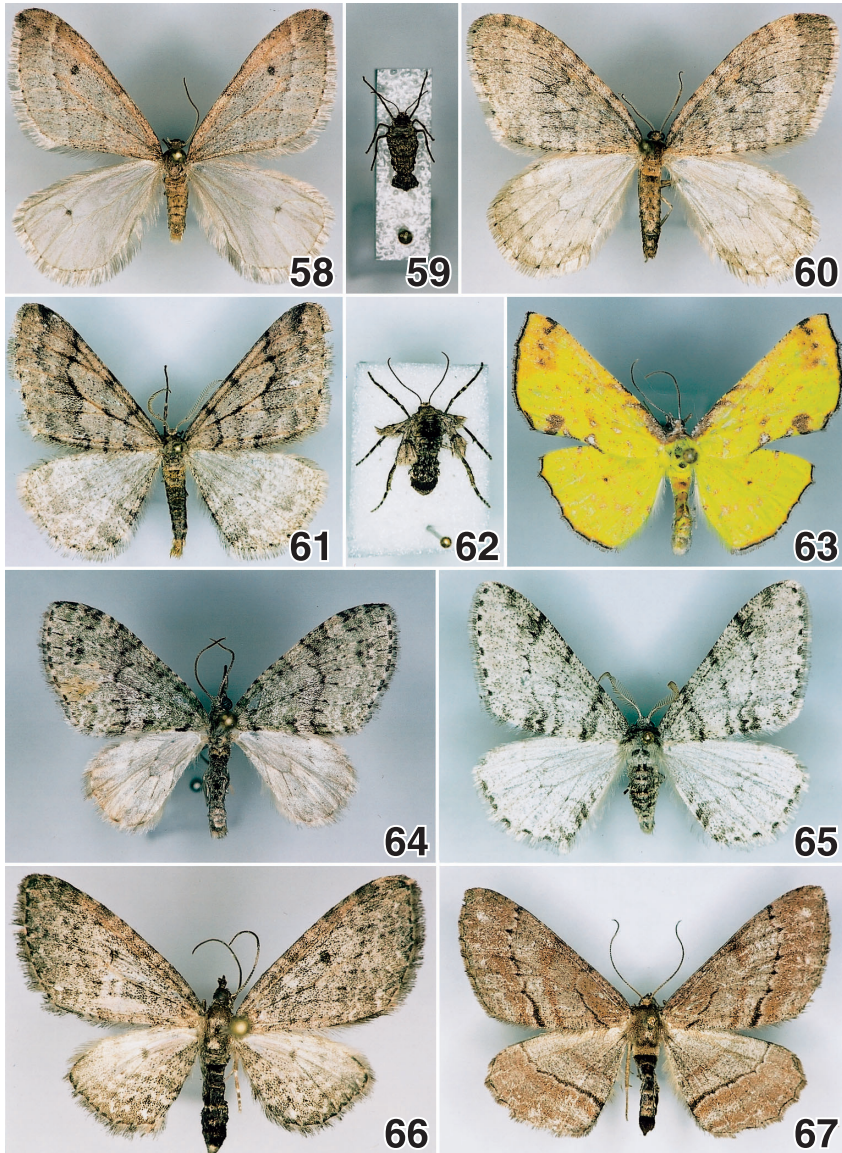
Figs. 7-24. 赤坂御用地の蛾類. 7, *Coptotriche japoniella*. 8, バラクロハモグリガ *Tischeria angusticollella*. 9, ウスマダラオオヒロズコガ *Morphaga fusciculata*. 10, ツルウメモドキシロハモグリ *Proleucoptera celastrella*. 11, ヒルガオハモグリガ *Bedellia somnulentella*. 12, ホシヌルデハマキホソガ *Caloptilia rhois*. 13, エノキハマキホソガ *Caloptilia celtidis*. 14, *Caloptilia camphorae*. 15, マテバシイホソガ *Cryptolectica pasaniae*. 16, ツタホソガ *Spulerina parthenocissi*. 17, ヤナギコハモグリ *Phyllocnistis saligna*. 18, フジサワベニマルハキバガ *Promalactis ermolenkoi*. 19, アカマツハモグリ *Ocnerosstoma friesei*. 20, ヒノキハモグリガ *Argyresthia chamaecypariae*. 21, ツマグロヒメマルハキバガ *Petalostomella* sp. 22, ヒメシロスジベニマルハキバガ *Promalactis autoclina*. 23, ヨツモンホソマルハキバガ *Macrobathra* sp. 24, ヤブミョウガスゴモリキバガ *Idioglossa polliacola*.



Figs. 25-42. 赤坂御用地の蛾類. 25, カザリバ *Cosmopterix fulminella*. 26, *Cosmopterix* sp. 27, ホソカザリバ *Cosmopterix attenuatella*. 28, マダラトガリホソガ *Anatrachyntis japonica*. 29, フサヒゲトガリホソガ *Labdia antennella*. 30, ギンスジトガリホソガ *Labdia niphosticta*. 31, ムモンクロヒゲナガキバガ *Catacreagra notolychna*. 32, *Lecithocera* sp. 1. 33, *Lecithocera* sp. 2. 34, イノコズチキバガ *Microsetia herini*. 35, ニセイグサキバガ *Monochroa subcostipunctella*. 36, ユウヤミキバガ *Caryocolum pullatellum*. 37, ハイイロゴマダラヒメキバガ *Chorivalva bisaccula*. 38, カクモンハイイロヒメキバガ *Parachronistis jiriensis*. 39, ツチイロキバガ *Dendrophilia neotaphronoma*. 40, ニセキボシクロキバガ *Carpatolechia flavipunctatella*. 41, ヒメマエモンハイキバガ *Anarsia isogona*. 42, イヌビワハマキモドキ *Choreutis japonica*.

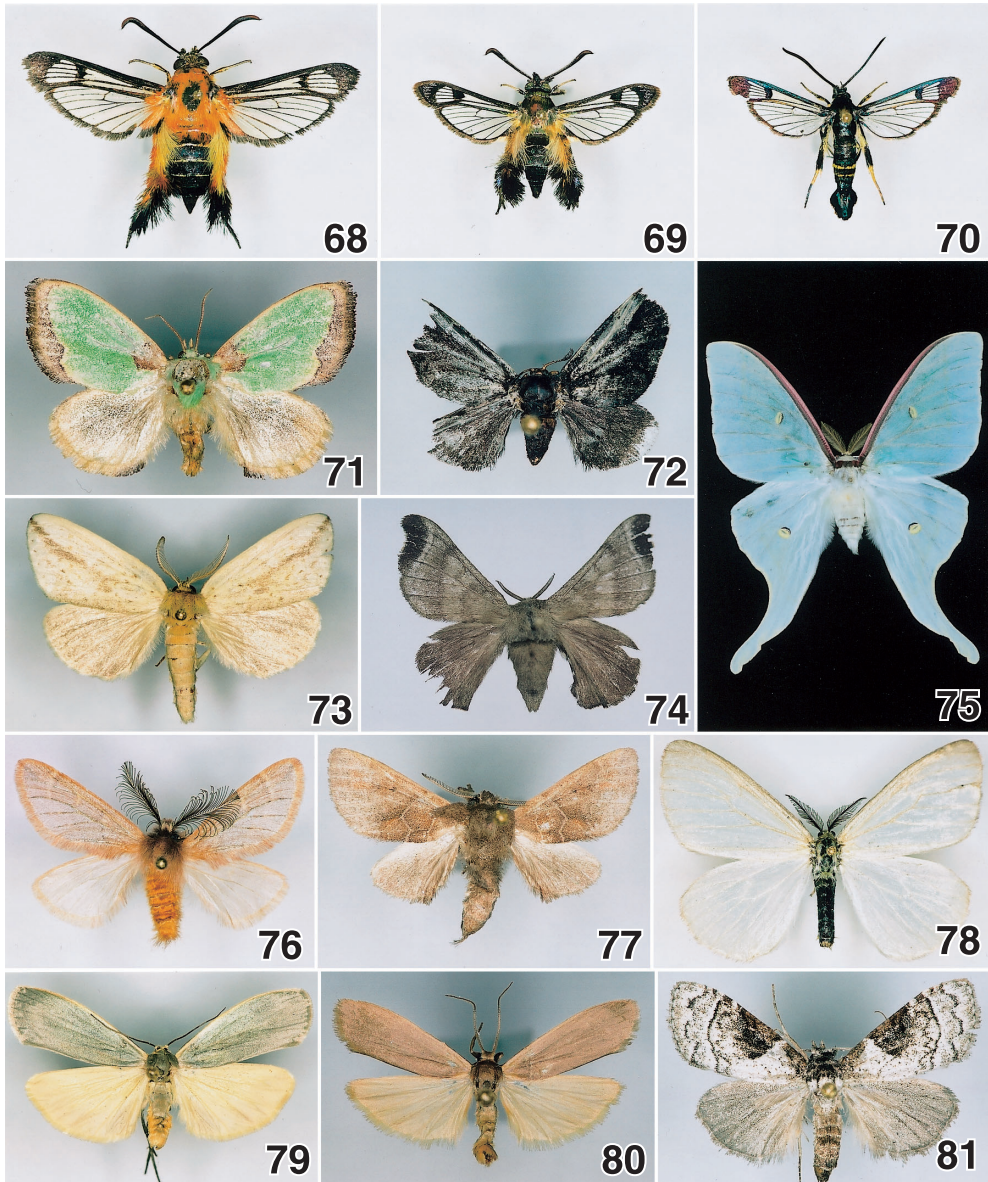


Figs. 43–57. 赤坂御用地の蛾類. 43, ビロードハマキ *Cerace xanthocosma*. 44, クロカクモンハマキ *Archips endoi*. 45, シロテントガリバヒメハマキ *Bactra venosana*. 46, アカマツメムシガ *Metacosma* sp. 47, マノヒメハマキ *Hedya manoi*. 48, ハシドイヒメハマキ *Zeiraphera corpulentana*. 49, マキヒメハマキ *Makivora hagiyai*. 50, スジボソヤマメイガ *Eudonia microdotalis*. 51, ウスチャツトガ *Pseudocatharylla duplicella*. 52, ヒメキスジツトガ *Calamotropha brevisrigella*. 53, ヒメマダラミズメイガ *Elophila turbata*. 54, フタゲロマダラメイガ *Trachycera dichromella*. 55, ウスマエジロマダラメイガ *Assara pallidella*. 56, フタテンシロカギバ *Ditrigona virgo*. 57, ミナミクロホシフタオ *Dysaethria meridiana*.

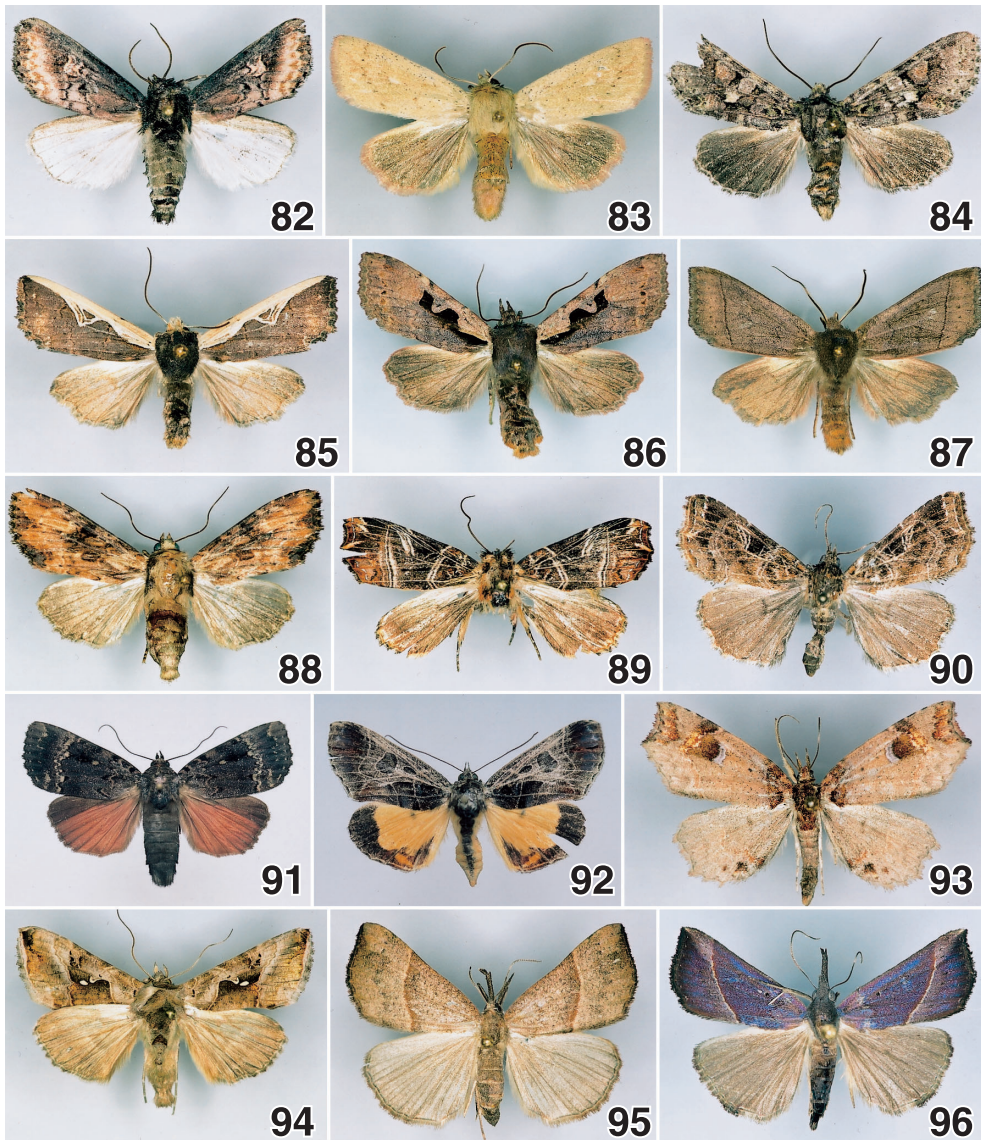


Figs. 58–67. 赤坂御用地の蛾類. 58–59, ウスバフユシヤク *Inurois fletcheri*, 交尾ペア. 60, コナミフユナミシヤク *Operophtera brunnea*. 61–62, ヒロバフユエダシヤク *Lararannis miracula*, ♂♀. 63, ヒメウコンエダシヤク *Corymica arnearia*. 64, ウスアカモンナミシヤク *Trichoptergia consobrinaria*. 65, シロトゲエダシヤク *Phigalia verecundaria*. 66, トシマカバナミシヤク *Eupithecia tenuisquama*. 67, クロクモエダシヤク *Apocleora rimosa*.





Figs. 68-81. 赤坂御用地の蛾類. 68. オオモモフトスカシバ *Melittia sangaica nipponica*. 69. シタキモフトスカシバ *Melittia inouei*. 70. コスカシバ *Synanthedon hector*. 71. クロシタアオイラガ *Parasa sinica*. 72. セミヤドリガ *Epipomponia nawai*. 73. キシャチホコ *Torigea straminea*. 74. クワコ *Bombyx mandarina*. 75. オオミズアオ *Actias artemis*. 76. クシヒゲシャチホコ *Ptilophora nohirae*. 77. ヒナシャチホコ *Micromelalopa troglodyta*. 78. キアシドクガ *Ivela auripes*. 79. キシタホソバ *Eilema aegrota*. 80. ヤネホソバ *Eilema fuscodorsalis*. 81. イナズマコブガ "*Meganola*" *triangulalis*.



Figs. 82–96. 赤坂御用地の蛾類. 82, ハマオモトヨトウ *Brithys crini*. 83, ツマアカキヨトウ *Mythimna inornata*. 84, ナカオビキリガ *Dryobotodes intermissa*. 85, キマエキリガ *Hemiglaea costalis*. 86, スギタニモンキリガ *Sugitania lepida*. 87, ナワキリガ *Conistra nawae*. 88, チャイロカドモンヨトウ *Apamea sodalis*. 89, ミナミツマキリヨトウ *Callopietria nobilior*. 90, コガタツマキリヨトウ *Callopietria pulchilinea*. 91, ナンカイカラスヨトウ *Amphipyla horiei*. 92, トビイロトラガ *Sarbanissa subflava*. 93, カザリツマキリアツバ *Tamba igniflua*. 94, タマナギンウワバ *Autographa nigrisigna*. 95, ヒトスジクロアツバ *Hypena furva*. 96, アオアツバ *Hypena subcyanea*.

- 5月27日昼夜：有田 豊・大和田守  
 6月15日昼：大和田守・斎藤洋一  
 6月24日昼夜：有田 豊・大和田守・岸田泰則  
 7月22日昼夜：有田 豊・大和田守

## 赤坂御用地の鱗翅類目録

各種の採集記録として皇居と自然教育園とあるのは、それぞれ大和田ほか(2000)と大和田ほか(2001)のからの引用である。

(略号, CP: 交尾ペア; em. 羽化; MT: マレーズトラップ)

## 単門亜目 Monotrysia

## モグリチビガ科 Nepticulidae

1. シイモグリチビガ *Stigmella castanopsiella* (Kuroko)

1♂, em. 25. III. 2004, ex *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* スダジイ.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。御用地内のスダジイの中には本種の潜孔が非常に多く見られる木があった。

## マグリガ上科 Incurvarioidea

## ヒゲナガガ科 Adelidae

1. ウスキヒゲナガ *Nematopogon distinctus* Yasuda

3♂, 16. IV. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

2. ホソオビヒゲナガ *Nemophora aurifera* (Butler)

2♂, 30. IV. 2002; 2♀, 9. V. 2002; 1♀, 22. V. 2002; 2♂, 12. V. 2003; 1♂1♀, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

## ツヤコガ科 Heliozelidae

1. キンモンツヤコガ *Antispila hikosana* Kuroko (Fig. 3)

6 mines, 9. V. 2002, ex *Bothrocaryum controversum* ミズキ.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。御用地内のミズキの大木で本種の潜孔が見られた。成虫は確認されていない。

## ムモンハモグリガ科 Tischeriidae

1. *Coptotriche japoniella* Puplesis et Diškus (Fig. 7)

11♂4♀, em. 14. V.-23. V. 2002, ex *Eurya japonica* ヒサカキ; 1♂, 27. V. 2004.

Puplesis and Diškus (2003) により, 日本産の標本に基づき記載された種である。ヒサカキに幼虫の潜孔が多く見られる。皇居で *Tischeria* sp., 自然教育園で Gen. et sp. として記録されたのは本種である。

2. バラクロハモグリガ *Tischeria angusticollella* (Duponchel) (Fig. 8)

1♀, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

二門亜目 Dityryia  
 ヒロズコガ上科 Tineoidea  
 ミノガ科 Psychidae

1. チャミノガ *Eumeta minuscula* Butler

1♂, em. 26. VI. 2004, ex *Prunus mume* ウメ.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている。

ヒロズコガ科 Tineidae  
 オオヒロズコガ亜科 Scardiinae

1. ウスマダラオオヒロズコガ *Morophaga fasciculata* Robinson (Figs. 4, 9)

6 exs., em. 6–18. XI. 2002, ex *Coeiolus versicolor* カワラタケ。

Robinson (1986) によって奈良県で採集された個体をもとに記載された種で, その後岩手県からも記録された (奥, 2003)。皇居, 自然教育園両地で採集されていなかったが, 最近皇居においても発生が確認された。

フサクチヒロズコガ亜科 Myrmecozelinae

2. マダラマルハヒロズコガ *Gaphara conspersa* (Matsumura)

1♂3♀, 8. VII. 2003; 1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 23. VII.–29. VII. 2003, (MT); 1♂, 24. VI. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている。

3. ハチノスヒロズコガ *Cephimallota chasanica* (Zagulajev)

4 exs., 23. V. 2002.

皇居の記録が日本から初めての記録である。自然教育園では確認されていない。

ヒロズコガ亜科 Tineinae

4. コガタスカシモンヒロズコガ *Crypsithyris saigusai* Gaedike

1 ex., 22. VII..2003.

Gaedike (2000) によって大分県で採集された個体を基に記載された種で, その後 Sakai & Saigusa (2002) が本州西南部, 対馬から記録した。

5. クロモンチビヒロズコガ *Crypsithyris crococomma* Meyrick

9 exs., 25. VII. 2002; 1 ex., 22. VIII. 2002; 3 exs., 22. VII. 2004; 9 exs., 25. VII. 2004.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。基準産地は東京である。

6. マエモンクロヒロズコガ *Monopis pavlovskii* (Zagulajev)

1♂, 22. VIII. 2002.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

7. アトキヒロズコガ *Monopis flavidorsalis* (Matsumura)

1 ex., 16. VI. 2004.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

メンコガ亜科 Hieroxestinae

8. モトキメンコガ *Opogona thiadelta* Meyrick

3 exs., 22. VII. 2003.

自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。

9. *Opogona* sp.

1 ex., 22. VIII. 2002.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

ハモグリガ科 *Lyonetiidae**Lyonetiinae*1. ヒサカキハモグリガ *Lyonetia euryella* Kuroko1♀, 23. V. 2002; 1♂1♀, em. 24. V.-25. V. 2002, ex *Eurya japonica* ヒサカキ; 3♂2♀, em. 2. V.-4. V. 2003, ex *Eurya japonica* ヒサカキ.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

2. モモハモグリガ *Lyonetia clerkella* (Linnaeus)4♂, em. 22. X.-24. X. 2002, ex *Prunus* sp. サクラ.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

*Leucopteriinae*3. ツルウメモドキシロハモグリ *Proleucoptera celastrella* Kuroko (Fig. 10)2♂7♀, em. 8-10. VII. 2004, ex *Celastrus orbiculatus* ツルウメモドキ.

皇居, 自然教育園領地で採集されていない。

*Bedelliinae*4. ヒルガオハモグリガ *Bedellia somnulentella* Stainton (Fig. 11)

1♂, 20. XI. 2002.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

ホソガ科 *Gracillariidae*ホソガ亜科 *Gracillariinae*1. チャノハマキホソガ *Caloptilia theivora* (Walsingham)1♂, em. 22. VIII. 2002, ex *Camellia* spp.; 2♀, em. 19. IX. 2002, ex *Camellia* spp.

ツバキやサザンカなどによくついている。皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

2. モミジハマキホソガ *Caloptilia acericola* Kumata3♂, em. 6. VI.-8. VI. 2002, ex *Acer palmatum* イロハモミジ; 1♀, em. 6. IX. 2002, ex *Acer palmatum* イロハモミジ.

イロハモミジに本種が巻いた葉が多く見られる。皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

3. ホシヌルデハマキホソガ *Caloptilia rhois* Kumata (Fig. 12)

1 ex. 21. X. 2003.

Kumata (1982) により北海道, 本州, 九州, 韓国の個体をもとに記載された種である。のちに奥 (2003) により和名がつけられた。東京初記録と思われる。

4. ツツジハマキホソガ *Caloptilia azaleella* (Brants)

1 ex., 21. X. 2003.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

5. エノキハマキホソガ *Caloptilia celtidis* Kumata (Fig. 13)

4♂2♀, em. 3. XI.-6. XI. 2002, ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ.

Kumata (1982) により本州西南部, 九州, 対馬の個体をもとに記載された種である. 奥 (2003) は和名をつけるとともに岩手県から記録した.

6. クヌギハマキホソガ *Caloptilia sapporella* (Matsumura)

1 ex., 23. V. 2002.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

7. *Caloptilia camphorae* Kumata (Fig. 14)

4♂8♀, em. 22. V.-24. V. 2002, ex *Cinnamomum camphora* クスノキ.

Kumata (1982) により本州, 九州, 屋久島の個体をもとに記載された種で, 基準産地は東京である. 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

8. クズマダラホソガ *Liocrobyla lobata* Kuroko

1 ex., 23. V. 2002; 2 exs., 24. IX. 2002.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

9. カキアンプサホソガ *Cuphodes diospyrosellus* Issiki

1♀, em. 8. IX. 2002, ex *Diospyros kaki* カキノキ.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

10. マテバシイホソガ *Cryptolectica pasaniae* Kumata et Kuroko (Fig. 15)

3♂, em. 30. V-4. VI. 2003, ex *Lithocarpus edulis* マテバシイ.

南西諸島から記載された種で (Kumara et al., 1988a). その後, 皇居からも記録されている. 自然教育園では採集されていない.

11. ツタホソガ *Spulerina parthenocissi* Kumata et Kuroko (Fig. 16)

1 ex., 9. V. 2002; 3♂1♀, em. 4. II.-13. II. 2003, ex *Parthenocissus tricuspidata* ツタ; 4♀2♀, em. 4. VIII-9. VIII. 2003, ex *Parthenocissus tricuspidata* ツタ.

北海道, 本州, 四国から記載された種だが (Kumara et al., 1988b), 関東地方からの記録はなかった.

キンモンホソガ亜科 Lithocolletinae

12. ミツオビキンモンホソガ *Phyllonorycter tritorrhecta* (Meyrick)

1♂1♀, em. 5. VIII.-16. VIII. 2002, ex *Zelkova serrata* ケヤキ.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

コハモグリガ科 Phyllocnistidae

1. ミカンコハモグリ *Phyllocnistis citrella* Stainton

1♀, em. 21. X. 2002, ex *Citrus natsudaidai* ナツミカン.

ナツミカンの若葉に多くの潜孔が確認された. 皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

2. ブドウコハモグリ *Phyllocnistis toparcha* Meyrick

2♀, em. 4. VIII. 2003, ex *Parthmocissus tricuspidata* ツタ.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

3. ヤナギコハモグリ *Phyllocnistis saligna* (Zeller) (Fig. 17)

1♀, 11. XII. 2002.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

スガ上科 Yponomeutoidea  
アトヒゲコガ科 Acrolepiidae

1. チビカザリコガ *Digitivalva hemiglypha* Diakonoff et Arita  
1♂, 19. VIII. 2003; 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
2. ネギコガ *Acrolepiopsis sapporensis* (Matsumura)  
1 ex., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。

スガ科 Yponomeutidae  
クチブサガ亜科 Pleutellinae

1. コナガ *Plutella xylostella* (Linnaeus)  
4♂, 9. V. 2002; 1♀, 17. X. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♂, 2. VII. 2003; 1♂, 16. IV. 2004; 1♂, 27. V. 2004; 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。小蛾類の最優占種の一種。
2. ヒロバコナガ *Leuroperna sera* (Meyrick)  
1♂, 21. X. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

スガ亜科 Yponomeutinae

3. ホソバコスガ *Xyrosaris lichneuta* Meyrick  
6♂3♀, em. 29. VIII.-5. IX. 2003, ex *Euonymus sieboldianus* マユミ.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
4. アカマツハモグリスガ *Ocnerostoma friesei* Svensson (Fig. 19)  
1 ex., 9. V. 2002; 1♀ 2exs., 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。酷似した個体が10月にも採れているが, 出現期があわないので同定を保留した(平野, 私信)。

メムシガ科 Argyresthiidae

1. ヒノキハモグリガ *Argyresthia chamaecypariae* Moriuti (Fig. 20)  
1 ex., 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

ホソハマキモドキガ科 Glyphipterigidae

1. コホソハマキモドキ *Glyphipterix alpha* Moriuti et Saito  
6♂3♀, 9. V. 2002; 2♂, 23. V. 2002; 1♂, 12. V. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
2. カラカネホソハマキモドキ *Glyphipterix gamma* Moriuti et Saito  
1♂, 24. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
3. ヘリグロホソハマキモドキ *Glyphipterix nigromarginata* Issiki  
4♂2♀, 16. IV. 2004.

皇居，自然教育園両地で採集されていない。

4. アトフタモンホソハマキモドキ *Glyphipterix euleucotoma* Diakonoff et Arita  
2♂, 23. V. 2002.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

5. *Glyphipterix* sp.  
5♂8♀, 23. V. 2002.

皇居から *Glyphipterix* sp. (大和田ほか，2000，fig. 12) として記録されたのと同一种。赤坂御用地内の二次林の林床にて昼間採集された。未記載種と思われる。

マダラガ上科 Zygaenoidea

マダラガ科 Zygaenidae

ホタルガ亜科 Chalcosiinae

1. ホタルガ *Pidorus atratus* Butler

1♀, em. 11. VI. 2002, ex *Eurya japonica* ヒサカキ; 2♂1♀, 25. VI. 2004.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。なお，本種は大和田ほか(2001)から記録されなかったが，自然教育園では例年その飛翔が目撃されている(久居，私信)。

クロバ亜科 Procridinae

2. ウメスカシクロバ *Illiberis rotundata* Jordan

1♀, 22. V. 2002; 2♂, 27. V. 2004.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

セミヤドリガ科 Epiptropidae

1. セミヤドリガ *Epipomponia nawai* (Dyar) (Figs. 5, 72)

1♀, em. 8. IX. 2002, ex *Meimuna opalifera* ツクツクホウシ。

2002年8月22日の調査で，御用地内に多数発生しているツクツクホウシの中から，本種の寄生を受けている雄 (Fig. 72) を採集した。御用地内では，ニイニイゼミ，アブラゼミ，ヒグラシ，ミンミンゼミ，ツクツクホウシの5種のセミ類が生息し，個体数は少なくない。2003年の夏にもセミ類を注意したが，本種の寄生を受けたものは発見できなかった。皇居，自然教育園両地で採集されていない。

イラガ科 Limacodidae

1. テングイラガ *Microleon longipalpis* Butler

1♂2♀, 23. V. 2002; 1♂, 25. VII. 2002; 1♂, 2. VII. 2003; 1 ex., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 3♂, 19. VIII. 2003; 2 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 3 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 2♀, 27. V. 2004; 1♀, 25. VI. 2004.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

2. クロシタアオイラガ *Parasa sinica* Moore (Fig. 71)

1♀, 22. VIII. 2002; 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT).

皇居，自然教育園両地で採集されていない。



## スカシバガ上科 Sesiioidea

## スカシバガ科 Sesiidae

1. コシアカスカシバ *Scasiba scribai* (Bartel)  
1♀ (pupal case, 蛹殻), 16. IX. 2003, ex *Cyclobalanopsis myrsinaefolia* シラカシ.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
2. シタキモモプトスカシバ *Melittia inouei* Arita et Yata (Fig. 69)  
1♂, 22. VII. 2003; 1♀, 6. VIII. 2003.  
ヤブカラシの花で吸蜜していた. 皇居, 自然教育園両地から記録されている.
3. オオモモプトスカシバ *Melittia sangaica nipponica* Arita et Yata (Fig. 68)  
1♂2♀, 22. VII. 2003.  
ヤブカラシの花で吸蜜していた. 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
4. コスカシバ *Synanthedon hector* (Butler) (Fig. 70)  
1♂, 22. VIII. 2002.  
スカシバガ類の性フェロモンルアーに飛来した. 皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

## ハマキモドキガ科 Choreutidae

## ハマキモドキガ亜科 Choreutinae

1. イヌビワハマキモドキ *Choreutis japonica* (Zeller) (Fig. 42)  
6♂2♀, em. 30. VII.-5. VIII. 2003, ex *Ficus erecta* イヌビワ; 1♂, 27. V. 2004.  
御用地内のイヌビワより幼虫が多数採集された. 暖温帯に分布する種で, 東京初記録と思われる.
2. ゴボウハマキモドキ *Tebenna micalis* (Mann)  
1♂, 19. VIII. 2003; 1♂, 21. X. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.

## キバガ上科 Gelechioidea

## マルハキバガ科 Oecophoridae

## ヒラタマルハキバガ亜科 Depressariinae

1. キマダラヒラタマルハキバガ *Eutorna insidiosa* Meyrick  
1♂, 23. V. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂, 2. VII. 2003; 1♂, 21. X. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
2. ネズミエグリヒラタマルハキバガ *Acria ceramitis* Meyrick  
1♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 22. VIII. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂, 19. VIII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.

## マルハキバガ亜科 Oecophorinae

3. クロモンベニマルハキバガ *Schiffmuelleria imogena* Butler  
1♂, 30. IV. 2002; 1♀, 23. V. 2002; 3♀, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
4. カレハヒメマルハキバガ *Pseudodoxia achlyphanes* (Meyrick)  
1♂, 2. VII. 2003; 6 exs., 22. VII. 2003.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

5. ツماغロヒメマルハキバガ *Petalostomella* sp. (Fig. 21)  
2♀, 25. VII. 2002.  
奥 (2003) が岩手から記録したものと同種と思われる (坂巻, 私信). 種名決定には至っていない。
6. フジサワベニマルハキバガ *Promalactis ermolenkoi* Lvovsky (Fig. 18)  
1♀, 9. V. 2002; 1♀, 23. V. 2002.  
最近, 亀田 (2001) によって北海道から記録された。東京からは青梅市と高尾山から記録されている (藤沢, 2002)。皇居, 自然教育園両地では採集されていない。
7. シロスジベニマルハキバガ *Promalactis enopisema* (Butler)  
1♂, 9. V. 2002; 6♀, 23. V. 2002; 2♂1♀, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
8. ヒメシロスジベニマルハキバガ *Promalactis autoclina* Meyrick (Fig. 22)  
1♀, 24. VI. 2004.  
東京で採集された標本をもとに記載された種だが, 藤沢 (2002) が長野県および愛知県から記録するまでのあいだ日本からは全く情報がなかった。皇居, 自然教育園両地では採集されていない。
9. カレハチビマルハキバガ *Tyrolimnas anthraconesa* Meyrick  
1♀, 25. VII. 2002; 1♀, 22. VII. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

オビマルハキバガ亜科 Deuterogoninae

10. ヨツモンホソマルハキバガ *Macrobathra* sp. (Fig. 23)  
1♂, 22. VIII. 2002; 3♀, 22. VII. 2003; 1♀, 16. IX. 2003; 1♂1♀, 22. VII. 2004.  
奥 (2003) が岩手県から記録したものと同種と思われる (坂巻, 私信)。皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

ホシマルハキバガ亜科 Autostichinae

11. *Autosticha* sp.  
1♀, 22. VIII. 2002.  
ミツボシキバガ *A. modicella* (Christoph) に似るが, 外見上斑紋がより不明瞭で, ♀交尾器の *ostium bursae* が壺状により強く硬化するため, 種名の判断を保留した (坂巻, 私信)。なお, ミツボシキバガは皇居から記録があるが, 自然教育園では採集されていない。

ニセマイコガ科 Stathmopodidae

1. カタアカマイコガ *Stathmopoda haematosema* Meyrick  
1♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

ヒロバキバガ科 Xyloryctidae

1. ツガヒロバキバガ *Metathrinca tsugensis* (Kearfott)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 22. VII. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

## クサモグリガ科 Elachistidae

1. *Elachista kurokoi* Parenti  
1♂, 9. V. 2002; 3♂2♀, 23. V. 2002; 1♀, 22. VIII. 2002.
2. *Elachista* sp.  
1♂, 23. V. 2002; 1♀, 27. V. 2004.  
詳細は前種を含め別に報告される予定である.

## ホソキバガ科 Batrachedridae

## ホソキバガ亜科 Batrachedrinae

1. コウスチャホソキバガ *Batrachedra albicapitella* Sinev  
1♂1♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 19. VIII. 2003.  
最近日本から見出された種である(奥, 2003). 皇居から記録された *Batrachedra* の未同定個体との異同は検討が必要である(杉島, 私信).
2. ヤブミョウガスゴモリキバガ *Idioglossa polliacola* Sugisima (Fig. 24)  
7♂4♀, em. 29. VII.-22. VIII. 2002, ex *Polliia japonica* ヤブミョウガ.  
東京都, 静岡県, 和歌山県の標本を基に新種として発表された種で, 基産地は皇居吹上御苑である(Sugisima & Arita, 2000). 幼虫が暖温带林の林床に生えるツユクサ科のヤブミョウガにつき, 皇居では例年, 多数発生しており, 自然教育園にも多い. 関東以西に広く分布しているものと推定される.

## ツツミノガ科 Coleophoridae

1. アオビユツツミノガ *Coleophora versurella* Zeller  
1♀, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 東京都ではあきる野市で確認されている(里山昆虫研究会, 2003).

## ネマルハキバガ科 Blastobasidae

1. ウスイロネマルハキバガ *Neoblastobasis spiniharpella* Kuznetsov et Sinev  
2♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 19. VIII. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
2. *Neoblastobasis* sp.  
1♀, 22. VII. 2004.  
*Neoblastobasis brevicornis* Moriuti に似るが, ostium 側方の spine patch がないため判断を保留した(坂巻, 私信). 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

## カザリバガ科 Cosmopterigidae

## マイコモドキ亜科 Antequerinae

1. ベニモンマイコモドキ *Pancalia hexachrysa* (Meyrick)  
1♂, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

カザリバガ亜科 *Cosmopteriginae*

2. ウスイロカザリバ *Cosmopterix victor* Stringer  
4♂4♀, em. 5. VI.-8. VI. 2002, ex. *Sasa veitchii* クマザサ.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている. クマザサの葉に本種幼虫の潜孔が多数見られた.
3. ホソカザリバ *Cosmopterix attenuatella* (Walker) (Fig. 27)  
1♀, 19. VIII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 普通種であるが, 雌は極端に少なく, 貴重な標本である (黒子, 私信).
4. カザリバ *Cosmopterix fulminella* Stringer (Fig. 25)  
1♂, 23. V. 2002.  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない.
5. *Cosmopterix* sp. (Fig. 26)  
1♀, 19. VIII. 2003.  
シソ科のカキドオシ *Glechoma hederacea* などに幼虫が潜る未記載種である (黒子, 私信). 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
6. フサヒゲトガリホソガ (新称) *Labdia antennella* Sinev et Park (Fig. 29)  
1♂1♀, 22. VII. 2003, 1♀, 19. VIII. 2003, 1♂, 21. VII. 2004.  
Sinev & Park (1994) によって韓国から記載された種で, 日本からはじめての記録となる. 次種に似るが, ♂の触角の基部が房状の黒い鱗粉で太くなるのが特徴とされる. 黒子 浩博士の同定で, 上記和名を提唱された.
7. ギンスジトガリホソガ *Labdia niphosticta* (Meyrick) (Fig. 30)  
2♀, 22. VII. 2003, 1♀, 24. VI. 2004.  
♂の触角の形態のほか, 前種に比べ, 前翅前縁の翅頂手前に銀白色の紋が出るのが本種の特徴であろう. 比較のために図示した♂は常盤松御用邸で採集された個体である. 皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
8. マダラトガリホソガ *Anatrachyntis japonica* Kuroko (Fig. 28)  
1♂, 17. X. 2002.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

ヒゲナガキバガ科 *Lecithoceridae*

1. フタクロボシキバガ *Scythrioides issikii* (Takahashi)  
1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT).  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない.
2. ゴマフシロキバガ *Scythrioides leucostola* (Meyrick)  
1♀, 2. VII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
3. *Lecithocera* sp. 1 (Fig. 32)  
1♀, 25. VII. 2002; 1♂, 19. VIII. 2003; 4♂1♀, 22. VII. 2004.  
中国から記載された *L. tridentata* Wu et Liu に似るが, ♀交尾器の *signum* がより小さく, *ductus bursae* に小突起がある (坂巻, 私信). 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
4. *Lecithocera* sp. 2 (Fig. 33)  
1♂, 22. VII. 2003.

*Leicthocera rotundata* Gozmany に外見上も♂交尾器も似るが、cornutiの構成が異なり、juxtaも中央に「へ」の字状の切れこみがより明瞭にはいることから、判断を保留した(坂巻, 私信). 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

5. キベリハイヒゲナガキバガ *Homaloxestis myeloxesta* Meyrick  
1♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
6. カクバネヒゲナガキバガ *Lecitholaxa thiodora* Meyrick  
1♀, 22. VIII. 2002.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
7. ムモンクロヒゲナガキバガ *Catacreagra notolychna* (Meyrick) (Fig. 31)  
3♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 22. VII. 2003; 1♀, 27. V. 2004.  
森内(1982)によって石垣島から記録された種であるが, 追加記録はなかった(坂巻, 私信). 赤坂御用地では少なからず採集されているので, 暖温帯域に広く分布する種かもしれない.
8. オビカクバネヒゲナガキバガ *Deltoplastis apostatis* (Meyrick)  
1♂, 9. V. 2002; 1♂, 23. V. 2002; 1♀, 19. VIII. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

#### キバガ科 Gelechiidae

1. イノコズチキバガ *Microsetia heringi* Kuroko (Fig. 34)  
1♂, 23. V. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 6♂, em. 21. I-12. II. 2003, ex *Achyranthes bidentata* イノコズチ.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない. イノコズチの葉上に多くの潜孔が確認されている.
2. ニセイグサキバガ *Monochroa subcostipunctella* Sakamaki (Fig. 35)  
1♂1♀, 22. VIII. 2002.  
北海道および本州(大阪府)の標本を基に記載された種で(Sakamaki, 1996a), 東京では日の出町から記録されている(里山昆虫研究会, 2003). 幼虫はイグサに潜り(Sakamaki, 1996b) 御用地内の池の周辺部に生息していると思われる. 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
3. ユウヤミキバガ(ハコベキバガ) *Caryocolum pullatella* (Tengstrom) (Fig. 36)  
1♀, 25. VII. 2002; 6♀, 17. X. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 6♂13♀, 21. X. 2003; 4♂1♀, 27. V. 2004; 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居からハコベキバガとして記録されたが, 自然教育園では採集されていない. 奥(2003)は和名を正すとともに, 岩手県では普通に産するとした. 東京では最近, 秋留台でかなり多くの個体が採集されており(里山昆虫研究会, 2003), 東京付近にも広く分布していると思われる.
4. セジロチビキバガ *Evippe syriactis* (Meyrick)  
1♂, 22. VII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
5. ハイイロゴマダラヒメキバガ *Chorivalva bisaccula* Omelko (Fig. 37)  
1♂, 22. VIII. 2002.  
日本では上田ほか(1999)によってクヌギ種子から飼育した個体が大阪府から記録された種で, その後岩手県からも記録されている(奥, 2003). 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
6. カクモンハイイロヒメキバガ *Parachronistis jiriensis* Park (Fig. 38)

1♀, 23. V. 2002.

韓国から記載された種で、日本では間野・原田 (1997) により愛知県から記録され、その後、川原 (2000) が北海道から記録している。皇居、自然教育園両地で採集されていない。

7. ニセキボシクロキバガ (新称) *Carpatolechia flavipunctatella* (Park) (Fig. 40)

1♀, 23. V. 2002.

Park (1992) により韓国から記載された種で、韓国では最普通種とされている。本報告で日本からはじめて記録される種であるが、奥 (2003) によって岩手県から記録されたキボシクロキバガ *C. yangyangensis* (Park) に非常に近い種で、北海道でも採れているという (坂巻, 私信)。属名の変更は Park (2004) に従った。

8. ヒメマエモンハイキバガ *Anarsia isogona* Meyrick (Fig. 41)

1♀, 19. VIII. 2003.

日本では近畿地方と九州から確認された種で (Ueda, 1997), その後、皇居でも記録されている。自然教育園では採集されていない。本種は岩手県でも得られており (奥, 2003), 日本では少なくとも本州以南には広く分布しているものと思われる。

9. イモキバガ *Helcystogramma triannulellum* (Herrich-Schäffer)

4♀, 16. IX. 2003; 1♂, 16. IV. 2004; 1♂, 22. VII. 2004.

皇居、自然教育園両地から記録されている。

10. カバオオフサキバガ *Dichomeris ustalella* (Fabricius)

1♀, 9. V. 2002; 2 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 2♂, 27. V. 2004; 1♂, 22. VII. 2004.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

11. *Dichomeris* sp.

1♂, 16. IX. 2003.

皇居、自然教育園両地から記録されているコフサキバガ *D. acuminata* (Staudinger) に近縁だが検討を要する個体である (坂巻, 私信)。

12. カバイロキバガ *Dichomeris heriguronis* (Matsumura)

1♂, 24. VI. 2004.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

13. ツチイロキバガ *Dendrophilia neotaphronoma* Ponomarenko (Fig. 39)

1♀, 24. IX. 2002; 1♂, 17. X. 2002.

Park (1995) により現在は上記の種の異名とされている *D. obscurella* として本州から記録された種で、その後、川原 (2000) は北海道から、奥 (2003) は岩手県から記録した。東京都でも *D. obscurella* として秋留台から記録されている (里山昆虫研究会, 2003)。各地に広く分布する種であろう。幼虫はマメ科のヤマハギ *Lespedeza bicolor* につくことが知られている (Park, 2004)。皇居、自然教育園両地では採集されていない。

14. クルミシントメキバガ *Polyhymno trapezoidella* (Caradja)

1♀, 21. X. 2003.

皇居、自然教育園両地で採集されていない。

ハマキガ上科 Tortricoidea

ハマキガ科 Tortricidae

ハマキガ亜科 Tortricinae

1. ビロードハマキ *Cerace xanthocosma* Diakonoff (Fig. 43)

1♂, em. 2. VI. 2002, ex *Camellia sasanqua* サザンカ; 2♀, em. 2. VI. 2002, ex *Stauntonia*

*hexaphylla* ムベ; 3♂3♀, em 8.-28. V. 2003, ex *Camellia sinensis* チャノキ; 1♂, 8. V. 2003, ex *Myrica rubra* ヤマモモ; ♀, em. 23. V. 2003, ex *Ilex pedunculosa* ソヨゴ; 1♀, 8. IX. 2003, 友国; 7♂6♀, 16. IX. 2003; 2♂5♀, 16. IX. 2003, 齊藤; 2♀, em. 21. IV.-13. V. 2004, ex *Camellia japonica* ヤブツバキ; 2♂, em. 26. IV. 2004, ex *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* スダジイ; 1♂3♀, em. 3. V.-9. V. 2004, ex *Camellia sasanqua* サザンカ; 3♂2♀, em. 4. V.-18. V. 2004, (S. Keino), exs. *tauntonia hexaphylla* ムベ; 1♂1♀, em. 4. V.-13. V. 2004, ex *Cleyera japonica* サカキ; 2♂1♀, em. 8. V.-18. V. 2004, ex *Daphniphyllum himalaense* ユズリハ; 1♀, em. 15. V. 2004, ex *Machilus thunbergii* タブノキ; 1♂1♀, em. 16. V.-31. V. 2004, ex *Pieris japonica* アセビ; 2♂, em. 18. V. 2004, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ; 2♂3♀, em. 18. IV.-24. IV. 2004, ex *Camellia sinensis* チャノキ; 1♂, em. 26. V. 2004, ex *Camellia sinensis* チャノキ; 2♂1♀, 27. V. 2004; 1♀, 15. VI. 2004; 5♂1♀, 15. VI. 2004; 1♀, 15. VI. 2004, 齊藤; 1♂, 15. VI. 2004, 齊藤; 1♀, 25. VI. 2004.

本種は2000年まで神奈川県と千葉県から記録が散見されたが(山崎・齊藤, 2003), 東京都からは採集記録は出なかった。皇居, 自然教育園で1990年代後半に採集され, 生息が確認された(大和田ほか, 2000, 2001)。皇居では2000年以降も発生数がしだいに増加していた。2003年の春には皇居でも赤坂御用地でも幼虫の巣がいたるところに見られ, 成虫の数が急増し, 大発生といえる状況になった。2004年の春には, 越冬した幼虫の巣は前年に比べて増加したように思われたが, 成虫の発生は2003年に比べ, わずかに減少したと思われた。皇居や赤坂御用地以外でも2003年には首都圏での発生が目立ったようで, 採集記録が出ている(山崎・齊藤, 2003; 齊藤, 2003; 自然環境研究センター, 2003)。成虫の発生は5-6月と9月の年2回。冬期, 幼虫は各種常緑広葉樹に見られるが, 夏期の食樹は確認していない。

2. アトキハマキ *Archips audax* Razowski

1♂, 22. VIII. 2002; 4♂, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

3. マツアトキハマキ *Archips oporanus* (Linnaeus)

1♂, 27. V. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

4. ミダレカクモンハマキ *Archips fuscocupreanus* Walsingham

3♂, em. 13. V.-17. V. 2002, ex *Eurya japonica* ヒサカキ; 1♂, em. 14. V. 2002, exs. *tauntonia hexaphylla* ムベ; 1♂, em. 15. V. 2002, ex *Kerria japonica* ヤマブキ; 3♂1♀, em. 13. V.-24. V. 2002, ex *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* スダジイ; 1♀, em. 21. V. 2002, ex *Rubus hirsutus* クサイチゴ; 1♀, em. 22. V. 2002, ex *Rhododendron oomurasaki* オオムラサキ; 1♂1♀, 23. V. 2002; 1♀, em. 24. V. 2002, ex *Mallotus japonicus* アカメガシワ; 1♀, em. 28. V. 2002, ex *Ligustrum lucidum* トウネズミモチ; 1♂, em. 28. V. 2003, ex *Magnolia hypoleuca* ホオノキ; 1♂, em. 28. V. 2003, ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ; 1♂2♀, em. 4. V.-7. V. 2004, ex *Prunus mume* ウメ; 1♂, em. 9. V. 2004, ex *Chaenomeles speciosa* ボケ; 2♂1♀, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

5. クロカクモンハマキ *Archips endoi* Yasuda (Fig. 44)

3♂3♀, 27. V. 2004.

寒冷地や山地の開けた場所に多い種類で, 北海道から本州中部山地に分布する(川辺, 1982)。東北地方においては1950~60年代にリング園に多発したが, 1960年代後半に低地からは姿を消し, 現在では山地に散発的に発生するのみという(奥, 2003)。落葉広葉樹の多食性の本種がもともと東京の低地に分布していたのか, 何らかの理由で最近侵入したのかは不明であるが, 赤坂御用地では同一日に複数の新鮮な個体が採集されており, ここで発生したことは疑いない。

皇居, 自然教育園両地では採集されていない。

6. チャハマキ *Choristoneura magnanima* (Diakonoff)  
1♀, em. 13. VI. 2002, ex *Camellia japonica* ヤブツバキ; 1♀, em. 23. VI. 2002, ex *Ilex integra* モチノキ; 1♀, 22. VII. 2003; 1♀, em. 12. IX. 2003, ex *Pieris japonica* アセビ; 1♂, em. 2. IV. 2004, ex *Camellia sinensis* チャノキ; 1♂, em. 15. IV. 2004, ex *tauntonia hexaphylla* ムベ; 4♂, 16. IV. 2004; 1♀, em. 7. V. 2004, ex *Ligustrum japonicum* ネズミモチ; 1♂, 27. V. 2004; 1♀, em. 31. VII. 2004, ex *Camellia sasanqua* サザンカ。  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。常緑樹を好む傾向がある。
7. オオギンスジハマキ (オオギンスジアカハマキ) *Ptycholoma lecheanum* (Linnaeus)  
1♂, 30. IV. 2002; 2♂, 9. V. 2002; 1♀, 23. V. 2002; 3♂, 12. V. 2003。  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
8. チャノコカクモンハマキ *Adoxophyes honmai* Yasuda  
1♀, 23. V. 2002。  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
9. ツヅリモンハマキ *Homonopsis foederatana* (Kennel)  
1♂2♀, 9. V. 2002。  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
10. トビモンコハマキ *Neocalyptis congruentana* (Kennel)  
1♀, 30. IV. 2002; 6♂, 9. V. 2002; 1♂2♀, 23. V. 2002; 1♀, 25. VII. 2002; 1♂, 2. VII. 2003; 1♂, 19. VIII. 2003; 1♂2♀, 16. IV. 2004; 2♂, 24. VI. 2004; 2♂1♀, 22. VII. 2004。  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
11. ホソバハイイロハマキ *Cnephasia stephensiana* (Doubleday)  
1♀, 23. V. 2002; 1♂, 12. V. 2003; 1♂, 27. V. 2004。  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
12. ナカジロハマキ *Acleris japonica* (Walsingham)  
1♀, 22. VII. 2003; 1♂, 24. VI. 2004。  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。
13. セウスイロハマキ *Acleris enitescens* (Meyrick)  
1♂1♀, 9. V. 2002; 1♀, 23. V. 2002; 1♂, 12. V. 2003; 1♂1♀, 21. X. 2003; 1♂, 16. IV. 2004; 2♂3♀, em. 7. VI-12. VI. 2004, ex *Rubus hirsutus* クサイチゴ。  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
14. ヨモギオオホソハマキ *Phtheochroides clandestinus* Razowski  
3 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 3 exs., 23. VII.-29. VII. 2003, (MT); 5 exs., 29. VII.-6. VIII. 2003, (MT); 10 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 4 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003; 1♀, 27. V. 2004。  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
15. ブドウホソハマキ *Eupoecilia ambiguella* (Hubner)  
1♀, 16. IV. 2004。  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。

#### ヒメハマキガ亜科 Olethreutinae

16. ヘリオビヒメハマキ *Microcorses marginifasciatus* (Walsingham)  
5♂1♀, 17. X. 2002; 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1♀, 20. XI. 2002; 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003,



- (MT); 2♀, 21. X. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。午後薄暗くなると林床を活発に飛翔する。
17. クロサンカクモンヒメハマキ *Microcorscs trigonanus* (Walsingham)  
2♂, 9. V. 2002; 1♂, 23. V. 2002; 1♀, 15. IV. 2003; 1♂1♀, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。習性は前種と同じだが春に発生する。
18. シロテントガリバヒメハマキ *Bactra venosana* (Zeller) (Fig. 45)  
1♀, 22. VIII. 2002.  
世界に広く分布する種だが, 日本では, これまで静岡以西から記録されていた (川辺, 1982)。
19. サッポロヒメハマキ *Ukamenia sapporensis* (Matsumura)  
2♂, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
20. コクロヒメハマキ (シソフシガ) *Endothenia remigera* Falkovitsh  
1♀, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
21. ハソオビヒメハマキ *Sorolopha sphaerocopa* (Meyrick)  
1♂1♀, 17. X. 2002; 1♂, 18. III. 2003; 2♀, em. 11. VI. 2003, ex *Machilus thunbergii* タブノキ; 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1♂, 19. VIII. 2003; 1♀, 21. X. 2003; 2♂1♀, 24. VI. 2004.  
皇居からの記録が東京都からの初記録である。自然教育園では採集されていない。常緑性クスノキ類に依存する照葉樹林の蛾と考えられる。
22. ヤマモモヒメハマキ *Eudemis gyrotis* (Meyrick)  
9♂6♀, em. 11. XI-16. XII. 2002, ex *Myrica rubra* ヤマモモ; 2♂4♀, em. 4. VI.-8. VI. 2004, ex *Myrica rubra* ヤマモモ。  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。植栽したヤマモモに依存している。
23. コブシヒメハマキ (マユミヒメハマキ) *Neostatherotis nipponica* Oku  
1♀, em. 15. VI. 2002, ex *Magnolia praecocissima* コブシ。  
自然教育園では道沿いに植栽されているコブシが本種の幼虫によって激しく加害されていたが, 赤坂御用地では西側の赤坂庭園付近の林内のコブシの葉で幼虫1個体を採集したのみである。皇居では採集されていない。本種はマユミにはつかず, モクレン科に依存することより, 奥 (2003) によって和名が改称された。
24. キモンヒメハマキ *Statherotmantis pictana* (Kuznetsov)  
1♀, 2. VII. 2003; 2 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 9♂, 16. IV. 2004; 5♂, 24. VI. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
25. イッシキヒメハマキ *Aterpia issikii* Kawabe  
1♀, 23. V. 2002; 1♂, 21. X. 2003.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
26. スネプトヒメハマキ *Phaecedophora fimbriata* Walsingham  
1♀, 17. X. 2002; 1♂, 21. X. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
27. コシロアシヒメハマキ *Hystrichoscelus spathanum* Walsingham  
2♂, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
28. グミオオウスツマヒメハマキ *Hedya auricristana* (Walsingham)  
1♂, em. 28. V. 2002, ex *Elaeagnus multiflora* ナツグミ; 3♀, em. 30. V. 2002, ex *Elaeagnus*

*multiflora* ナツグミ; 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地から記録されている. 赤坂庭園近くのナツグミが本種に激しく加害されていた.

29. マノヒメハマキ *Hedya manoi* Kawabe (Fig. 47)  
1♂, 21. X. 2003.  
記録の少ない種だが, 東京からは秋留台より記録がある (里山昆虫研究会, 2003). 皇居, 自然教育園両地では採集されていない.
30. コクリオビクロヒメハマキ *Phiaris orthocosma* (Meyrick)  
5♂, 23. V. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 2♂, 24. IX. 2002; 1♀, 2. VII. 2003; 1♂, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
31. クリオビクロヒメハマキ *Rubisociaria velutina* (Walsingham)  
1♂, 23. V. 2002.  
自然教育園で確認されているが, 皇居では採集されていない.
32. ホソバチビヒメハマキ *Lobesia aeolopa* Meyrick  
1♀, 22. VIII. 2002; 2♀, 17. X. 2002; 1♂, 12. V. 2003; 1♀, 19. VIII. 2003; 1♂, 16. IX. 2003; 1♀ 24. VI. 2004; 1♂1♀, 22. VII. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
33. スイカズラホソバヒメハマキ *Lobesia coccophaga* Falkovitsh  
1♀, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
34. モッコクヒメハマキ *Eucoenogenes ancyrota* (Meyrick)  
3♀, em. 28. VII. 2002, ex *Ternstroemia gymnanthera* モッコク; 1♀, 3. VIII. 2002.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない. 御用地内のモッコクには多くの加害跡が見られた.
35. クロゲハイイロヒメハマキ *Spilonota melanocopa* Meyrick  
1♂, 22. VII. 2003; 1♂, 30. III. 2004; 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
36. ニレコヒメハマキ *Epinotia ulmicola* Kuznetsov  
7♂7♀, 9. V. 2002; 4♂, 23. V. 2002; 2♂3♀, 12. V. 2003; 3♂4♀, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている. 5月には昼間, 飛翔する個体が多く見られた. おそらく御用地内のケヤキで発生しているものと考えられる.
37. クロマダラシロヒメハマキ *Epinotia exquisitana* (Christoph)  
1♂, 23. V. 2002; 1♂, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
38. マツヒメハマキ (マツノクロマダラヒメハマキ) *Epinotia rubiginosana* (Herrich-Schäffer)  
1♀, 9. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
39. ハシドイヒメハマキ *Zeiraphera corpulentana* (Kennel) (Fig. 48)  
2♀, 24. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 北方系の種で, これまでは北海道, 東北および中部山地から知られて, 分布はハシドイの自生地と一致するという (川辺, 1982).
40. スギヒメハマキ *Epiblema sugii* Kawabe  
1♂, 25. VII. 2002; 1♀, 17. X. 2002; 1♂, 17. X. 2002; 1♂, 12. V. 2003.

自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。

41. クロネハイイロヒメハマキ *Rhopobota naevana* (Hubner)  
2♂2♀, 9. V. 2002; 1♀, 23. V. 2002; 1♂, 12. V. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
42. アカマツメムシガ (マツメムシ) *Metacosma* sp. (Fig. 46)  
1♂, 19. VIII. 2003.  
奥 (2003) によってアカマツメムシガとして岩手県から記録されている。皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
43. マキヒメハマキ *Makivora hagiyai* Oku (Fig. 49)  
1♂, 22. VII. 2004.  
皇居で確認されているが、自然教育園では採集されていない。
44. シロテンボカシヒメハマキ *Thaumatotibia hemitoma* (Diakonoff)  
1♀, 16. IX. 2003; 4♀, 22. VIII. 2002; 3♂, 22. VII. 2004; 1♀, 24. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。日本からの記録は散発的で、東京都では高尾山からの記録がある (川辺, 1982)。
45. ダイズサヤムシガ (ニセマメサヤヒメハマキ) *Matsumuraeses falcana* (Walsingham)  
1♀, 22. VII. 2003; 1♀, 19. VIII. 2003; 1♀, 16. IX. 2003; 1♀, 24. IX. 2002; 1♂, 3. XII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
46. ナシヒメシンクイ *Grapholita molesta* (Busck)  
2♂, 22. VII. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
47. ヨツズジヒメシンクイ *Grapholita delineana* (Walker)  
1♂, 9. V. 2002; 2♂1♀, 23. V. 2002; 3♂, 22. VIII. 2002; 4♂, 2. VII. 2003; 2♀, 16. IX. 2003; 2♂, 27. V. 2004; 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。食草のカナムグラ群落でよく見られるほか灯火にもよく来る。
48. ネモロウサヒメハマキ *Pammene nemorosa* Kuznetsov  
1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
49. *Parapammene petulantana* (Kennel)  
3♀, 19. VIII. 2003; 1♀, 22. VIII. 2002; 1♂, 24. VI. 2004; 1♂, 9. V. 2002.  
Komai (1999) によって北海道および本州 (大阪府) から記録された種で、幼虫はカエデ類の実を食べるといふ。皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
50. マメシンクイガ *Leguminivora glycinivorella* (Matsumura)  
11♂3♀, 24. IX. 2002; 20♂9♀, 16. IX. 2003.  
皇居から記録されている。自然教育園のクララヒメシンクイガの記録は本種の誤同定であった。
51. クリミガ *Cydia kurokoi* (Amsel)  
1♀, 24. IX. 2002; 1♂2♀, 16. IX. 2003.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
52. ヨツメヒメハマキ *Cydia danilevskyi* (Kuznetsov)  
1♂3♀, 24. IX. 2002; 4♂2♀, 16. IX. 2003.  
自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。

53. シロツメモンヒメハマキ *Cydia amurensis* (Danilevsky)

1♀, 16. IX. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

マダラハマキガ亜科 Chlidanotinae

54. スジケマダラハマキ *Lopharcha psathyra* Diakonoff

1♂, 16. IV. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。自然教育園では近縁の別種(未同定)が採れている。

シンクイガ上科 Copromorphae

ニジュウシトリバガ科 Alucitidae

1. ニジュウシトリバ *Alucita spilodesma* (Meyrick)

1♀, 18. III. 2003.

自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。

2. アヤニジュウシトリバ *Alucita flavofascia* (Inoue)

1♂2♀, em. 11. X.-14. X. 2002, ex *Gardenia jasminoides* クチナシ.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

マドガ上科 Thyridoidea

マドガ科 Thyrididae

マダラマドガ亜科 Siculodinae

1. ヒメマダラマドガ *Rhodoneura hyphaema* West

1♀, 2. VII. 2003; 2 exs., 23. VII.-29. VII. 2003, (MT); 2 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

メイガ上科 Pyraloidea

ツトガ科 Crambidae

ヤマメイガ亜科 Scopaliinae

1. スジボンヤマメイガ *Eudonia microdentalis* (Hampson) (Fig. 50)

3♂2♀, 9. V. 2002; 1♂, 23. V. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♀, em. 26. IV. 2004, ex bark of *Prunus* sp. サクラ類の樹皮。

サクラ類の樹皮上に特異なトンネルを作って, 中に幼虫が潜んでいた。トンネルは少なくなかった。雌成虫が羽化したので同定できた。近縁のホソバヤマメイガ *Scoparia isochroalis* Hampson の幼虫も, 樹皮の上に生える蘚類(コモチイトゴケ *Clastohryella kusatsuensis*) の中にトンネル状の巣を作り, それを食べることが報告されており(中村, 1988), 後に同じ蘚類のヤマトフデゴケ *Campylopus japonicus* も食草として追加されている(村瀬, 2002)。皇居, 自然教育園両地から記録されている。

ツトガ亜科 Crambinae

2. シロエグリツトガ *Glaucoccharis exsectella* (Christoph)

4♂, 22. V. 2002; 2♂3♀, 23. V. 2002; 2♀, 24. IX. 2002; 1♂, 22. VII. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

3. モンチビツトガ *Microchilo inexpectellus* Bleszynski  
1♂, 27. V. 2004; 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
4. ウスチャットガ *Pseudocatharylla duplicella* (Hampson) (Fig. 51)  
2♂, 9. V. 2002; 1♂, 22. V. 2002; 3♂, 12. V. 2003; 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
5. ヒメクスジツトガ *Calamotropha brevistrigella* (Caradja) (Fig. 52)  
1♀, 19. VIII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
6. シロスジツトガ *Crambus argyrophorus* Butler  
7♂, 30. IV. 2002; 1♂, 9. V. 2002; 1♂, 22. V. 2002; 2♂3♀, 23. V. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♂, 22. VII. 2003; 2 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1♂1♀, 27. V. 2004; 2♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
7. シバツトガ *Parapediasia teterella* (Zincken)  
4♂, 9. V. 2002; 1♂, 22. V. 2002; 2♂, 23. V. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 2♂, 12. V. 2003; 1♂, 22. VII. 2003; 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1♂, 27. V. 2004; 7♂, 27. V. 2004; 3♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。

## モンメイガ亜科 Cybalomiinae

8. フタオビノメイガ *Trichophysetis cretacea* (Butler)  
4♂, 9. V. 2002.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

## ノメイガ亜科 Pyraustinae

9. コガタシロモンノメイガ *Piletocera sodalis* (Leech)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 24. IX. 2002; 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1♂, 27. V. 2004; 1♀, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
10. ハナダカノメイガ *Camptomastix hisbonalis* (Walker)  
1♀, 9. V. 2002; 1♂, 22. V. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♀, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
11. シロオビノメイガ *Spoladea recurvalis* (Fabricius)  
1♀, 22. VIII. 2002; 1♂, 11. IX. 2002, (Y. Saito); 1♀, 24. IX. 2002; 5 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 2 exs., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 2 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 11. XI. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
12. アヤナミノメイガ *Eurrhyarodes accessalis* (Walker)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 24. IX. 2002; 3 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂, 17. X. 2002; 3♂3♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 18 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 18 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 11 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。

13. マタスジノメイガ *Pagyda quinquelineata* Hering  
1♂, 25. VII. 2002; 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003; 1♀, 22. VII. 2004.  
自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。
14. ヨスジノメイガ *Pagyda quadrilineata* Butler  
1♂, 23. V. 2002; 3♂, 2. VII. 2003; 1 ex., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 2 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 3 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
15. コブノメイガ *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenée)  
1 ex., 29. VII.-6. VIII. 2003, (MT); 1♂, 19. VIII. 2003; 2 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 42 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 3♂, 16. IX. 2003; 125 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 32 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂, 21. X. 2003.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
16. モモノゴマダラノメイガ *Conogethes punctiferalis* (Guenée)  
1♀, 24. IX. 2002.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
17. シロテンキノメイガ *Nacoleia commixta* (Butler)  
1♀, 9. V. 2002; 2♀, 23. V. 2002.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
18. ヒメクロミスジノメイガ *Omiodes miserus* (Butler)  
1♀, 24. IX. 2002.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
19. オオキノメイガ *Botyodes principalis* Leech  
1♂, 23. V. 2002; 1♂1♀, 24. IX. 2002; 1♂2♀, 17. X. 2002; 3♂, 22. VII. 2003; 2♀, em. 4.VIII.2003 ex *Malotus japonicus* アカメガシワ; 1♂1♀, 19. VIII. 2003; 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
20. タイワンウスキノメイガ *Botyodes diniasalis* (Walker)  
1♂, 17. X. 2002.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
21. コヨツメノメイガ *Pleuroptya inferior* (Hampson)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
22. マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis* (Bremer)  
2♀, 23. V. 2002; 1♂, 24. IX. 2002; 1♂, 20. XI. 2002; 1♂, 16. XII. 2002; 1♀, em. 3. VI. 2003, ex *Ligustrum japonicum* ネズミモチ; 1♂, 15. IV. 2003; 1♂, 22. VII. 2003; 1♀, 19. VIII. 2003; 1♂, 16. IX. 2003; 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♀, 11. XI. 2003; 1♀, 9. III. 2004; 1♀, 27. V. 2004; 1♀, 25. VI. 2004.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
23. ワタヘリクロノメイガ *Diaphania indica* (Saunders)  
1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂, 16. IX. 2003; 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♂, 21. X. 2003.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

24. ツゲノメイガ *Glyphodes perspectalis* (Walker)  
1♂, 23. V. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
25. スカシノメイガ *Glyphodes pryeri* Butler  
1♂, 9. V. 2002; 1 ex., 23. VII.–29. VII. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
26. チビスカシノメイガ *Glyphodes duplicalis* Inoue, Munroe et Mutuura  
1 ex., 13. V.–4. VI. 2003, (MT); 1♀, 25. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
27. シロマダラノメイガ *Glyphodes* sp.  
1♂, 15. VI. 2004.  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。
28. カギバノメイガ *Circobotys nycterina* Butler  
1♀, 30. IV. 2002; 1♀, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
29. マメノメイガ *Maruca vitrata* (Fabricius)  
2♂, 24. IX. 2002; 1♂3♀, 17. X. 2002; 1♀, 2. VII. 2003; 1 ex., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 1♀, 16. IX. 2003; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
30. ワモンノメイガ *Nomophila noctuella* (Denis et Schiffermüller)  
1♂, 22. VII. 2003; 1♂, 22. VII. 2004; 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
31. アカウスグロノメイガ *Bradina angustalis* Yamanaka  
1♂1♀, 22. VIII. 2002; 2♂1♀, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
32. クロオビクロノメイガ *Herpetogramma licarsisale* (Walker)  
1♀, 17. X. 2002; 1♂, 21. X. 2003; 1♀, 25. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
33. マエキノメイガ *Herpetogramma rudis* (Warren)  
1♂, 30. IV. 2002; 1♂, 23. V. 2002; 4♂3♀, 24. IX. 2002; 1 ex., 11. X.–28. X. 2002, (MT); 1♂1♀, 22. VII. 2003; 2♀, 19. VIII. 2003; 3 exs., 19. VIII.–2. IX. 2003, (MT); 19 exs., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 2♂2♀, 16. IX. 2003; 15 exs., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.–14. X. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
34. モンキクロノメイガ *Herpetogramma luctuosale* (Guenée)  
1♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 24. IX. 2002; 3♀, 19. VIII. 2003; 2 exs., 19. VIII.–2. IX. 2003, (MT); 2 exs., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 2 exs., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
35. シロアヤヒメノメイガ *Diasemia reticularis* (Linnaeus)  
1♂, 9. V. 2002; 4♂1♀, 12. V. 2003; 1 ex., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 1♀, 16. IX. 2003; 2♀, 25. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
36. キアヤヒメノメイガ *Diasemia accalis* (Walker)  
2 exs., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 2♀, 16. IX. 2003.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

37. アワノメイガ *Ostrinia furnacalis* (Guenée)  
1♂, 9. V. 2002.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
38. アズキノメイガ *Ostrinia scapularis* (Walker)  
1♂, 4. VI. 2004.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
39. フキノメイガ *Ostrinia zaguliaevi* Mutuura et Munroe  
1♀, 22. VII. 2002; 1♀, 15. VI. 2004; 1♀, 25. VI. 2004.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
40. クロモンキノメイガ *Udea testacea* (Butler)  
1♂, 9. V. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1♀, 16. IV. 2004; 1♂, 15. VI. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
41. トモンノメイガ *Pyrausta limbata* (Butler)  
1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT).  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
42. ヒメトガリノメイガ *Anania verbascalis* (Denis et Schiffermüller)  
1♂, 23. V. 2002.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
43. クロスジキノメイガ *Acropentias aurea* (Butler)  
1♀, 9. V. 2002.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。

#### ミズメイガ亜科 Nymphulinae

44. ヒメマダラミズメイガ *Elophila turbata* (Butler) (Fig. 53)  
1♀, 24. IX. 2002; 1♀, 16. IX. 2003; 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。

#### メイガ科 Pyralidae

#### シマメイガ亜科 Pyralinae

1. カバイロトガリメイガ *Endotricha theonalis* (Walker)  
1♂1♀, 23. V. 2002; 2♀, 27. V. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
2. ウスベントガリメイガ *Endotricha olivacealis* (Bremer)  
2♂1♀, 9. V. 2002; 2♂1♀, 23. V. 2002; 1♂3♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 24. IX. 2002; 3♀, 19. VIII. 2003;  
1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 6 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003; 1♂, 27. V. 2004; 1♀, 22. VII. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。

#### マダラメイガ亜科 Phycitinae

3. マエジクロマダラメイガ *Assara funerella* (Ragonot)  
1♂3♀, 23. V. 2002; 1♀, 27. V. 2004.



- 皇居, 自然教育園両地から記録されている。
4. ウスマエジロマダラメイガ *Assara pallidella* Yamanaka (Fig. 55)  
6♀, 9. V. 2002; 3♂3♀, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
  5. マエジロホソマダラメイガ *Phycitodes subcretacellus* (Ragonot)  
3♀, 16. IX. 2003; 1 ex., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
  6. ウスアカムラサキマダラメイガ *Calguia defigualis* Walker  
1 ex., 17. VI.–24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 24. VI.–1. VII. 2003, (MT); 2♀, 2. VII. 2003; 2♂, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
  7. ナシモンクロマダラメイガ *Conobathra bellulella* (Ragonot)  
1♂, 9. V. 2002; 2♀, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
  8. フタグロマダラメイガ *Trachycera dichromella* (Ragonot) (Fig. 54)  
1♀, 22. VII. 2003; 1♀, 15. VII. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
  9. トビマダラメイガ *Samaria ardentella* Ragonot  
1♂, 9. V. 2002; 2♂2♀, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
  10. ネアカマダラメイガ *Etielloides bipartitellus* Leech  
1♀, 12. V. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
  11. ニシザワマダラメイガ *Cathyalia nishizawai* Yamanaka  
1♀, 24. IX. 2002; 1♂, 21. X. 2003.  
長崎県で採集された雌の標本をもとに新種として記載された (Yamanaka, 2004)。皇居と自然教育園の調査では採集されていないが, その後の皇居のモニタリング調査で, 本種と思われる個体が少数採集されている。今回採集された雄の標本については別報で詳細が記載される (山中, 私信)。
  12. *Acrobasis* sp.  
2♂2♀, em. 28. VII.–1. VIII. 2003, ex *Celtis sinensis* エノキ。  
本種は未記載種で (山中, 私信), 自然教育園から *Acrobasis* sp. 1 として記録された種と同種と思われる。

## トリバガ上科 Pterophoroidea

## トリバガ科 Pterophoridae

1. ブドウトリバ *Nippoptilia vitis* (Sasaki)  
1♂, 25. VII. 2002; 3♂, em. 30. VIII–1. IX. 2002, ex *Cayratia japonica* ヤブガラシ; 2♂, 24. IX. 2002; 1♂, 17. X. 2002; 1♂, 20. XI. 2002; 1♂, 22. VII. 2003; 1♂, 19. VIII. 2003; 1♂1♀, 21. X. 2003; 1♂, 21. X. 2003; 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
2. トキンソウトリバ *Stenoptilodes taprobanus* (Felder et Rogenhofer)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 17. X. 2002.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

3. ヒルガオトリバ *Emmelina argoteles* (Meyrick)  
1♂, em. 27. VIII. 2002, ex pupa on *Morus alba* クワノキ樹上の蛹を採集; 1♀, 22. VII. 2003; 1♂, 21. X. 2003.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

セセリチョウ上科 Hesperioidea

セセリチョウ科 Hesperidae

1. コチャバネセセリ *Thressa varia* (Murray)  
1♀, 21. V. 2003, 斉藤; 1♀, 20. VIII. 2002, 斉藤.
2. キマダラセセリ *Potanthus flavus* (Murray)  
1♂, 12. VI. 2002, 斉藤; 1♂2♀, 22. VIII. 2002; 2exs., 17. VI.-24. VI. 2003 (MT).
3. チャバネセセリ *Pelopidas marthias oberthueri* Evans  
1♂1♀, 22. VIII. 2002; 2♂, 11. IX. 2002.
4. イチモンジセセリ *Parnara guttata* (Bremer et Grey)  
1♂, 21. V. 2003, 斉藤; 2♂, 22. V. 2002, 斉藤・大和田; 2♀, 20. VII. 2003; 1♂, 20. VIII. 2002, 斉藤; 4♂2♀, 22. VIII. 2002; 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).

アゲハチョウ上科 Papilionoidea

アゲハチョウ科 Papilionidae

1. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer)  
1♀, 22. V. 2002; 1♀, 8. VII. 2003; 1♀, 22. VII. 2003; 4♂, 20. VIII. 2002, 斉藤; 1♂, 22. VIII. 2002.
2. アゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus  
1♀, 27. V. 2004; 1♂, 24. VI. 2003; 1♀, 14. VII. 2004; 1♂, 22. VII. 2003; 1♂, 20. VIII. 2002, 斉藤; 1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 16. IX. 2003; 1♂, 2. IX.-16. IX. 2003 (MT).
3. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* (Felder et Felder)  
1♀, 14. VII. 2004, 斉藤.
4. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius* Stoll  
1♂, 25. VI. 2004; 1♀, 16. VIII. 2003; 2♂, 20. VIII. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002.
5. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von Siebold  
1♂, 16. IX. 2003, 斉藤.
6. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* (Felder et Felder)  
1♂, 13. V. 2004, 斉藤; 1♂, 24. VI. 2003.

シロチョウ科 Pieridae

1. モンキチョウ *Colias erate poligraphus* Motschulsky  
1♀, 30. IV. 2002; 1♂, 15. VI. 2004; 1♀, 15. X. 2003, 斉藤.
2. キチョウ *Eurema hecabe* (Linnaeus)  
1♂, 14. VII. 2004; 1♀, 22. VII. 2003; 1♂1♀, 6. VIII. 2003, 斉藤; 1♀, 21. X. 2003; 1♀, 6. XI. 2002, 斉藤.
3. スジグロシロチョウ *Artogeia melete* (Ménétrières)  
1♂1♀, 16. IV. 2004; 1♂, 27. V. 2004; 1♂1♀, 15. VI. 2004; 1♂, 25. VI. 2004; 1♀, 2. VII. 2003; 1♀, 8. VII. 2003; 1♂, 14. VII. 2004; 2♂, 22. VII. 2003; 2♂1♀, 6. VIII. 2003. 斉藤江美・大和田; 1

- ♂1♀, 20. VIII. 2002, 齊藤ほか; 1♂1♀, 16. IX. 2003; 1♂, 21. X. 2003.
4. モンシロチョウ *Artogeia rapae crucivora* (Boisduval)  
1♀, 16. IV. 2004; 1♂, 27. V. 2004; 1♂, 15. VI. 2004; 2♂, 25. VI. 2004; 1♂1♀, 8. VII. 2003; 1♂,  
14. VII. 2004; 2♂, 22. VII. 2003; 1♂, 6. VIII. 2003; 1♂, 20. VIII. 2002, 齊藤; 1♀, 22. VIII. 2002; 1  
♀, 21. X. 2003.
5. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* Butler  
2♂, 16. IV. 2004; 2♀, 15. IV. -28. IV. 2003 (MT).

## シジミチョウ科 Lycaenidae

1. ムラサキシジミ *Narathra japonica* (Murray)  
1♂1♀, 15. VI. 2004; 1♀, 25. VI. 2004; 1♂1♀, 20. VIII. 2002, 齊藤; 1♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 11. IX.  
2002; 2♂, 16. IX. 2003, 齊藤・大和田; 1♂, 24. IX. 2002; 1♀, 6. XI. 2002, 齊藤.
2. トラフシジミ *Rapara arata* (Bremer)  
2♂, 15. VI. 2004, 齊藤・大和田; 1♂1♀, 25. VI. 2004.
3. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* (Matsumura)  
1♀, 14. VII. 2004.
4. ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha argia* (Ménétrières)  
1♂, 16. IV. 2004; 1♀, 30. IV. 2002; 1♂, 15. VI. 2004; 1♀, 8. VII. 2003; 1♂, 22. VII. 2003; 1♂, 22.  
VIII. 2002; 1♀, 19. VIII.-2. IX. 2003 (MT); 1♂2♀, 2. IX.-16. IX. 2003 (MT); 1♀, 16. IX.-30. IX.  
2003 (MT).
5. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* (de l'Orza)  
1♂, 30. III. 2004; 1♂, 22. V. 2002, 齊藤; 1♀, 27. V. 2004; 1♀, 15. VI. 2004; 1♀, 22. VIII. 2002.
6. ツバメシジミ *Evers argiades* (Pallas)  
1♂, 11. IX. 2002.
7. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* (de Niceville)  
1♂, 6. VIII. 2003, 齊藤江美; 2♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 16. IX. 2003, 齊藤; 1♂2♀, 21. X. 2003; 1  
♀, 6. XI. 2002, 齊藤.

## マダラチョウ科 Danaidae

1. アサギマダラ *Parantica sita nipponica* (Moore)  
1♂, 22. VIII. 2002.

## タテハチョウ科 Nymphalidae

1. ミドリヒョウモン *Argynnis paphis tsushima* (Fruhstorfer)  
1♀, 11. IX. 2002, 齊藤.
2. キタテハ *Polygonia c-aureum* (Linnaeus)  
2♀, 20. VIII. 2002, 齊藤・大和田.
3. ゴマダラチョウ *Hestina persimilis japonica* (Felder et Felder)  
1♀, 14. VII. 2004; 1♀, 22. VIII. 2002; 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003 (MT).

## ジャノメチョウ科 Satyridae

1. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler  
2♂, 30. IV. 2002; 1♂, 13. V. 2004, 齊藤; 1♂, 21. V. 2003, 齊藤; 1♀, 22. V. 2002, 齊藤; 1♂, 14.

- VII. 2004; 1♂, 22. VII. 2004; 1♀, 6. VIII. 2003; 1♀, 11. IX. 2002; 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003 (MT).
2. ヒカゲチョウ *Lethe sicelis* (Hewitson)  
 1♀, 9. V. 2002; 2♂, 22. V. 2002; 1♀, 20. VIII. 2002, 齊藤; 1♀, 22. VIII. 2002; 1 ex., 29. VII.-6. VIII. 2003 (MT); 3 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003 (MT); 4 exs., 2. IX.-16. IX. 2003 (MT).
3. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* (Ménétrières)  
 1♂1♀, 20. VIII. 2002; 2 exs., 13. V.-4. VI. 2003 (MT); 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003 (MT); 4 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003 (MT).
4. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Frustorfer  
 3♂, 22. V. 2002, 大塚・齊藤・大和田; 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003 (MT)
5. クロコノマチョウ *Melanitis phedima oitensis* Matsumura  
 1♂, 8. IX. 2003, 友国; 1 蛹, 6. XI. 2002, 齊藤.

カギバガ上科 Drepanoidea

カギバガ科 Drepanidae

1. フタテンシロカギバ *Ditrigona virgo* (Butler) (Fig. 56)  
 1♀, 30. IV. 2002; 8♂8♀, em. 17. VI-8. VII. 2002, ex *Cornus controversa* ミズキ; 1♂, 2. VII. 2003; 2 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♀, 25. VI. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている。幼虫はミズキに非常に多く発生しているが, 灯火への飛来数は少ない。
2. スカシカギバ *Macrauzata maxima* Inoue  
 1♀, 27. V. 2004.  
 自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。
3. アシベニカギバ *Oreta pulchripes* Butler  
 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT).  
 皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

シャクガ上科 Geometroidea

シャクガ科 Geometridae

フユシャク亜科 Alsophilinae

1. クロテンフユシャク *Inurois membranaria* (Christoph)  
 16♂, 21. I. 2003; 1 ex., 6. I.-21. I. 2003, (MT); 1♀, 3. II. 2003; 1 ex., 21. I.-5. II. 2003, (MT); 2♂, 18. II. 2003; 1♂, 18. III. 2003; 9♂, 7. I. 2004; 5♂1CP, 20. I. 2004; 1♂, 3. II. 2004; 4♂, 18. II. 2004; 3♂, 2. III. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている。
2. ウスバフユシャク *Inurois fletcheri* Inoue (Figs. 58-59)  
 2♂1CP, 16. XII. 2002; 1 ex., 24. XII. 2002-6. I. 2003, (MT); 28♂1CP, 21. I. 2003; 1 ex., 6. I.-21. I. 2003, (MT); 1 ex., 21. I.-5. II. 2003, (MT); 1 ex., 18. II.-4. III. 2003, (MT); 1♂, 18. III. 2003; 1♂, 7. I. 2004; 8♂1CP, 20. I. 2004; 1♂, 3. II. 2004; 7♂, 18. II. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている。このほかウスバフユシャクかクロテンフユシャクと思われる♀が2個体2004年2月3日に採集されている。

## アオシャク亜科 Geometrinae

3. クスアオシャク *Pelagodes subquadrarius* (Inoue)  
2♂, 22. VIII. 2002.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
4. ウスキヒメアオシャク *Jodis urosticta* Prout  
1♂, 24. IX. 2002; 1♂, 15. IV. 2003; 1♀, 16. IX. 2003; 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
5. ヒメツバメアオシャク *Maxates protrusa* (Butler)  
1♂, 24. IX. 2002.  
皇居、自然教育園両地で採集されていない。
6. キバラヒメアオシャク *Hemithea aestivaria* (Hübner)  
1♀, 24. IX. 2002.  
自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。
7. ヘリグロヒメアオシャク *Hemithea tritonaria* (Walker)  
1♀, 24. IX. 2002.  
自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。
8. ホソバハラアオシャク *Chlorissa anadema* (Prout)  
1♂, 27. V. 2004.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
9. ナミスジコアオシャク *Idiochlora ussuriaria* (Bremer)  
1♀, 24. IX. 2002.  
皇居、自然教育園両地から記録されている。
10. コヨツメアオシャク *Comostola subtiliaria* (Bremer)  
1♀, 12. V. 2003; 1♀, 21. X. 2003.  
皇居、自然教育園両地で採集されていない。

## ヒメシャク亜科 Sterrhinae

11. シロモンウスチャヒメシャク *Organopoda carnearia* (Walker)  
1 ex., 29. VII.-6. VIII. 2003, (MT).  
照葉樹林の蛾と思われる、東京では皇居から記録されているのみである。自然教育園では採集されていない。
12. フタナミトビヒメシャク *Pylargosceles steganioides* (Butler)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT); 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
13. ウスベニスジヒメシャク *Timandra dichela* (Prout)  
1♀, 6. VIII. 2003; 1♂, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
14. クロテンシロヒメシャク *Scopula apicipunctata* (Christoph)  
1♀, 16. IX. 2003.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
15. クロスジシロヒメシャク *Scopula pudicaria* (Motschulsky)  
2♂, 25. VI. 2004.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

16. ウスキクロテンヒメシャク *Scopula ignobilis* (Warren)  
1♂, 19. VIII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
17. キオビベニヒメシャク *Idaea impexa* (Butler)  
2♂, 23. V. 2002; 2♂1♀, 22. VIII. 2002; 1♂, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
18. オオウスモンキヒメシャク *Idaea imbecilla* Inoue  
3♀, 9. V. 2002; 1♂2♀, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
19. オイワケヒメシャク *Idaea invalida* (Butler)  
1♂, 22. V. 2002; 3♂2♀, 23. V. 2002.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
20. サクライキヒメシャク *Idaea sakuraii* (Inoue)  
1♂, 22. V. 2002; 1♂1♀, 23. V. 2002; 1♂, 19. VIII. 2003; 1♂, 21. X. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。

ナミシャク亜科 Larentiinae

21. チャオビコバネナミシャク *Trichopteryx terranea* (Butler)  
1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
22. ウスアカモンナミシャク *Trichoptergia consobrinaria* (Leech) (Fig. 64)  
3♀, 12. V. 2003; 6♂1♀, 16. IV. 2004.  
常緑カシ林の蛾と思われ, 東京では皇居および高尾山(井上, 1962)の記録があるのみ。自然教育園では採集されていない。
23. アトスジグロナミシャク *Epilobophora obscuraria* (Leech)  
1♂, 23. V. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
24. フトジマナミシャク *Xanthorhoe saturata* (Guenée)  
1♀, 23. V. 2002; 1♀, 17. X. 2002; 1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 2 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♀, 11. XI. 2003; 1♀, 9. III. 2004; 1♀, 16. IV. 2004; 1♂, 25. VI. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
25. フタトビスジナミシャク *Xanthorhoe hortensiararia* (Graeser)  
1♂, 30. IV. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
26. トビスジヒメナミシャク *Orthonama obstipata* (Fabricius)  
1♀, 9. V. 2002; 1♂, 24. IX. 2002; 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
27. セスジナミシャク *Evecliptopera illitata* (Wileman)  
1♀, 9. V. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂, 12. V. 2003; 1 ex., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 1 ex., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT); 1 ex., 10. VI.-17. VI. 2003, (MT); 2 exs., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 24. VI.-1. VII. 2003, (MT); 1♂, 22. VII. 2003; 1 ex., 23. VII.-29. VII. 2003, (MT); 1

- ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
28. オオハガタナミシャク *Ecliptopera umbrosaria* (Motschulsky)  
1 ex., 1. IV.-15. IV. 2003, (MT); 1 ex., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT); 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 29. VII.-6. VIII. 2003, (MT); 2 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 1♀, 16. IX. 2003; 10 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♀, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
29. シロシタトビロナミシャク *Heterothera postalbida* (Wileman)  
1♂, 12. V. 2003; 2♀, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
30. コナミフユナミシャク *Operophtera brunnea* Nakajima (Fig. 60)  
5♂, 7. I. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。  
本種は従来“ナミスジフユナミシャク *Operophtera brumata* (Linnaeus)”として、ヨーロッパと共通種として扱われていた。最近、日本産のものの再検討により *O. brumata* と異なることが判明した。さらに、日本産の雌の前翅長に大小の差があることがわかり、本種とオオナミフユナミシャク *O. variabilis* の2種が記載された (Nakajima, 1991)。本種は関東地方では平地から比較的的低山部に産する。関東地方では成虫は12月中旬から出現を開始し、交尾・産卵する。幼虫は野外での記録はないが、孵化幼虫によって、クヌギ、ケヤキ、ソメイヨシノなどで飼育されている (中島, 1986, 1998)。
31. クロオビフユナミシャク *Operophtera relegata* Prout  
1 ex., 6. XII.-24. XII. 2002, (MT); 1♂, 17. XII. 2003.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
32. ナカオビカバナミシャク *Eupithecia subbreviata* Staudinger  
2♂, 2. III. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
33. マエナミカバナミシャク *Eupithecia nipponaria* Leech  
1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
34. ソトカバナミシャク *Eupithecia signigera* Butler  
1♀, 2. III. 2004; 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
35. トシマカバナミシャク *Eupithecia tenuisquama* (Warren) (Fig. 66)  
1♂, 17. X. 2002; 3♀, 21. X. 2003; 2♂8♀, 16. IV. 2004.  
井上 (1982) は愛知県を北限としたが、神奈川県丹沢の札掛から中島 (1983) が報告して以来、関東南部でよく記録されるようになった。東京では高尾山 (神保, 1998)、秋留台 (里山昆虫研究会, 2003) などから記録され、皇居, 自然教育園両地でも少なくない。赤坂御用地でも多くの個体が採集されている。高尾山では最近になって定着したと推定されるが (大和田ほか, 2000)、温暖な低地では以前から分布していた可能性もある。
36. ケブカチビナミシャク *Gymnoscelis esakii* Inoue  
1♂, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
37. クロスジアオナミシャク *Chloroclystis v-ata* (Haworth)

1♂, 16. IX. 2003.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

38. クロフウスアオナミシヤク *Chloroclystis consueta* (Butler)

1♂, 23. V. 2002.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

39. ハラアカウスアオナミシヤク *Chloroclystis obscura* West

2♂, 12. V. 2003; 2♂, 27. V. 2004.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

40. ソトシロオビナミシヤク *Chloroclystis excisa* (Butler)

1♀, 17. X. 2002; 1♀, 20. XI. 2002; 1♀, 21. X. 2003.

皇居、自然教育園両地から記録されている。

エダシヤク亜科 Ennominae

41. バラシロエダシヤク *Lomographa temerata* (Denis et Schiffermüller)

1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT).

皇居、自然教育園両地から記録されている。

42. ヤマトエダシヤク *Peratostega deletaria* (Moore)

1♂, 8. VII. 2003.

皇居、自然教育園両地で採集されていない。

43. ウスアオエダシヤク *Parabapta clarissa* (Butler)

1♀, 9. V. 2002.

皇居、自然教育園両地から記録されている。

44. フタスジオエダシヤク *Rhynchobapta cervinaria* (Moore)

1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT).

自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。

45. マエキオエダシヤク *Plesiomorpha flaviceps* (Butler)

1♀, 15. VI. 2004.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

46. モンオビオエダシヤク *Plesiomorpha punctilinearia* (Leech)

1♀, 12. V. 2003; 2♂, 16. IV. 2004; 1♀, 22. VII. 2004.

皇居、自然教育園両地から記録されている。

47. クロハグルマエダシヤク *Synegia esther* Butler

1♀, 30. IV. 2002; 1♀, 23. V. 2002; 1♀, 23. V. 2002; 2♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 24. IX. 2002; 3♀, 12. V. 2003; 1 ex., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 1 ex., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT); 1 ex., 10. VI.-17. VI. 2003, (MT); 6 exs., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1♂, 2. VII. 2003; 3 exs., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 3 exs., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT); 1♂2♀, 22. VII. 2003; 2 exs., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 5 exs., 23. VII.-29. VII. 2003, (MT); 1 ex., 29. VII.-6. VIII. 2003, (MT); 2♂, 19. VIII. 2003; 24 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 22 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1♂, 16. IX. 2003; 8 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 9 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003; 1♀, 27. V. 2004; 3♂, 25. VI. 2004; 1♂1♀, 22. VII. 2004.

皇居、自然教育園両地から記録されている。

48. フタテンオエダシヤク *Chiasmia defixaria* (Walker)

1♀, 27. V. 2004.



- 皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
49. スカシエダシャク *Krananda semihyalina* Moore  
1♂, 15. IV. 2003; 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1♀, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない. 東京湾沿岸部が北限と推定されている (大和田ほか, 2000).
50. ツマジロエダシャク *Krananda latimarginaria* Leech  
3♂1♀, 16. IV. 2004; 1♀, 27. V. 2004; 2♂1♀, 25. VI. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
51. シロジマエダシャク *Euryobeidia languidata* (Walker)  
1♂, 23. V. 2002; 3♀, em. 10. VI. 2003, ex *Ilex integra* モチノキ; 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1♀, 24. VI. 2003; 2♀, 2. VII. 2003; 3♂, 27. V. 2004; 1♀, 15. VI. 2004; 2♂, 25. VI. 2004.  
最近, 関東南部で増加傾向にある種で, 神奈川県の一部地域では市街地で普通に見られるようになったという (久保, 2000). 皇居, 自然教育園両地でも非常に多くの個体が確認されており, 食樹であるモチノキがはげしく食害されている. 赤坂御用地においても一部が丸坊主になるほど幼虫が発生した木があった.
52. チャウンモンエダシャク *Jankowskia fuscaria* (Leech)  
1 ex., 2. XI.-16. XI. 2003, (MT).  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない.
53. クロクモエダシャク *Apocleora rimosa* (Butler) (Fig. 67)  
1♀, 23. V. 2002; 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 幼虫はヒノキの葉を食べる.
54. シロテンエダシャク *Cleora leucophaea* (Butler)  
1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
55. ナカウスエダシャク *Alcis angulifera* (Butler)  
1♂1♀, 22. V. 2002; 1♂1♀, 23. V. 2002; 4♂, 17. X. 2002; 3 exs., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 2♂1♀, 9. V. 2003; 2♂, 12. V. 2003; 15♂, 21. X. 2003; 18♂3♀, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
56. フタヤマエダシャク *Rikiosatoa grisea* (Butler)  
2♂, 23. V. 2002; 1♂, 24. IX. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない.
57. ナミガタエダシャク *Heterarmia charon* (Butler)  
1 ex., 13. V.-4. VI. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
58. オオトビスジエダシャク *Ectropis excellens* (Butler)  
1♀, 16. IV. 2004; 1♀, 25. VI. 2004.  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない.
59. ヒロバフユエダシャク *Larerannis miracula* (Prout) (Figs. 61-62)  
1♀, 3. II. 2003; 1 ex., 5. II.-18. II. 2003, (MT); 1♂, 20. I. 2004; 4♂, 3. II. 2004; 2♀, 3. II. 2004; 5♂, 18. II. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている.
60. シロフフユエダシャク *Agriopsis dira* (Butler)  
1♂, 2. III. 2004.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

61. シロトゲエダシャク *Phigalia verecundaria* (Leech) (Fig. 65)  
1♂, 18. II. 2004.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。  
全国的に分布し，珍しい種ではないが多産する地域は少ない（中島，1986）。配偶行動は他のフユシャクと異なり，午後 11 時頃から開始することが判明しており，幼虫は 10 科 19 種の植物につき多食性である（中島，1998）。
62. チャエダシャク *Megabiston plumosaria* (Leech)  
2 exs., 25. XI.-6. XII. 2002, (MT).  
皇居，自然教育園両地から記録されていないが，皇居のモニタリング調査では採集されている。
63. ニトベエダシャク *Wilemania nitobei* (Nitobe)  
2 exs., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 25. XI.-6. XII. 2002, (MT).  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
64. アトジロエダシャク *Pachyligia dolosa* Butler  
1♂, 18. III. 2003; 1♂, 2. III. 2004; 1♂, 9. III. 2004.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
65. ハスオビエダシャク *Descoreba simplex* Butler  
1 ex., 18. III.-1. IV. 2003, (MT); 1 ex., 1. IV.-15. IV. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
66. ウスクモエダシャク *Menophra senilis* (Butler)  
1♂, 2. VII. 2003; 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 4♂2♀, 16. IV. 2004.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
67. マエキトビエダシャク *Nothomiza formosa* (Butler)  
1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT).  
自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていない。
68. オオマエキトビエダシャク *Nothomiza oxygoniodes* Wehrli  
1♂2♀, 15. IV. 2003; 1♂, 2. VII. 2003; 5♂, 22. VII. 2003; 2♂, 16. IX. 2003; 4♂1♀, 16. IV. 2004.  
常緑カシ林の蛾で，アラカシで飼育されている（宮田，1983）。東京都からの記録は少なかったが，皇居では多数個体が記録されている。赤坂御用地でも，皇居同様に多くの個体が確認された。本種は自然教育園では採集されていないが，皇居では関東地方でより普通に見られる前種が採集されていない。
69. エグリツマエダシャク *Odontopera arida* (Butler)  
1♀, 9. III. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
70. モンシロツマキリエダシャク *Xerodes albonotarius* (Bremer)  
1♀, 16. IV. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
71. ミスジツマキリエダシャク *Xerodes rufescentarius* (Motschulsky)  
2♀, 16. IV. 2004.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
72. モミジツマキリエダシャク *Endropiodes indictinarius* (Bremer)  
1♂, 22. VII. 2003; 1♂1♀, 16. IV. 2004.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

73. ヒメウコンエダシャク *Corymica arnearia* Walker (Fig. 63)

1♂1♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♀, 2. VII. 2003; 1CP, 21. X. 2003; 1♂, 25. VI. 2004.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

74. ウスキツバメエダシャク *Ourapteryx nivea* Butler

1♂, 9. V. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1♂1♀, 21. X. 2003; 1♂, 27. V. 2004; 1♀, 15. VI. 2004; 1♂1♀, 25. VI. 2004.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

ツバメガ上科 *Uraniodea*

ツバメガ科 *Uraniidae*

フタオガ亜科 *Epipleminae*

1. ミナミクロホシフタオ *Dysaethria meridiana* (Inoue) (Fig. 57)

1♀, 30. IV. 2002; 1♀, 2. VII. 2003; 1♂, 19. VIII. 2003.

本種は井上 (1982) によって沖縄島と石垣島の標本で記載された種で，その後，福岡県から記録され，幼虫がスイカズラ科のサンゴジュを食べることが判明した (行徳, 1983). 本州では和歌山市からもサンゴジュで発見され，詳細な飼育経過が記録された (村瀬, 1993, 1994). 皇居のモニタリング調査でも，サンゴジュにつくフタオガ科の幼虫が発見され，飼育し，羽化した個体の交尾器を検したところ，本種であることが判明した. 皇居からは近縁種クロホシフタオ *Dysaethria moza* (Butler) の1♀が記録されていたが (大和田ほか, 2000)，標本の交尾器を検したところ，本種の誤同定であったことが確認できた. 本調査で採集された標本も，すべて交尾器を検討し，同定したものである. サンゴジュは庭木や垣根として植栽されることが多いので，本種が関東地方に分布していることはまず間違いないと思われるので，これまでの“クロホシフタオ”の記録は再検討の必要があろう. 自然教育園では採集されていない。

カイコガ上科 *Bombycoidea*

カイコガ科 *Bombycidae*

1. クワコ *Bombyx mandarina* (Moore) (Fig. 74)

1♂, 3. XII. 2003; 1♂, em. 24. VI. 2004, ex *Marus alba* クワ.

自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていなかった. なお，その後の皇居のモニタリング調査で，生物学御研究所横の桑畑で幼虫が発生していることが確認されている (大和田, 2004).

ヤママユガ科 *Saturniidae*

1. オオミズアオ *Actias artemis* (Bremer et Grey) (Fig. 75)

1♂, 23. V. 2002; 1♀, 19. VIII. 2003.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

スズメガ科 *Sphingidae*

1. トビイロスズメ *Clanis bilineata* (Walker) (Fig. 6)

1 ex., larva, 24. IX. 2002, ex *Pueraria thunbergiana* クズ.

皇居，自然教育園両地で採集されていない. 終齢幼虫をクズから採集したが，蛹化せず，成虫は羽化しなかった.

2. モモズメ *Marumba gaschkewitschii* (Bremer et Grey)  
1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 29. VII.–6. VIII. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
3. オオスカシバ *Cephonodes hylas* (Linnaeus)  
1♂, 25. VII. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 14. VII. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
4. ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta* Butler  
1♂, 24. IX. 2002; 1 ex., 11. X.–28. X. 2002, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
5. コスズメ *Theretra japonica* (Boisduval)  
1♀, 25. VII. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 2. VII. 2003; 2 exs., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
6. セスジズメ *Theretra oldenlandiae* (Fabricius)  
1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
2002年8月に, 西門の南側の土手で, ブドウ科のヤブガラシ *Cayratia japonica* についての弱齢幼虫を多数採集したが, すべてハエに寄生され, 羽化させることができなかった。皇居, 自然教育園両地で採集されていなかったが, 皇居のモニタリング調査では採集されている。

## ヤガ上科 Noctuoidea

## シャチホコガ科 Notodontidae

1. キシャチホコ *Torigea straminea* (Moore) (Fig. 73)  
1♀, 23. V. 2002; 4♂, 22. VIII. 2002; 1 ex., 28. IV.–13. V. 2003, (MT); 1 ex., 10. VI.–17. VI. 2003, (MT); 1 ex., 23. VII.–29. VII. 2003, (MT); 8 exs., 12. VIII.–19. VIII. 2003, (MT); 5♂, 19. VIII. 2003; 2 exs., 19. VIII.–2. IX. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
2. ツマキシシャチホコ *Phalera assimilis* (Bremer et Grey)  
幼虫多数 (larvae), 22. VIII. 2002, ex *Quercus dentata* カシワ。  
自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない。馬場の西側の並木にカシワが1本あり, 2002年の夏に幼虫の集団が見られた。2003年はその木には発生しなかったようである。
3. クシヒゲシャチホコ *Ptilophora nohirae* (Matsumura) (Fig. 76)  
13 exs., 25. XI.–6. XII. 2002, (MT); 8♂3♀, 16. XII. 2002; 20 exs., 6. XII.–24. XII. 2002, (MT); 9 exs., 24. XII. 2002–6. I. 2003, (MT); 17♂, 3. XII. 2003; 1♂, 17. XII. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。赤坂御用地でも本種は多数飛翔するが, 皇居と同様に, すべて小型の個体であった。
4. ヒナシャチホコ *Micromelalopha troglodyta* (Graeser) (Fig. 77)  
1♂, 24. IX. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

## ドクガ科 Lymantriidae

1. ヒメシロモンドクガ *Orgyia thyellina* Butler  
7♂, 25. VII. 2002; 1 ex., 17. VI.–24. VI. 2003, (MT); 1♂, 2. VII. 2003; 3♂, 16. IX. 2003; 1♂, 22. VII. 2004.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

2. キアシドクガ *Ivela auripes* (Butler) (Fig. 78)

2♂, 22. V. 2002; 3♂1♀, 23. V. 2002; 3♂, 27. V. 2004.

自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていない。従来，自然教育園でも，その発生が確認されていないが，2001年に園内のミズキに発生し，2004年まで継続して大発生しているという(矢野，私信)。このほか，都内の公園，街路樹などで大発生したという問い合わせが数件あったので，2001年頃から都区内での発生が増加したことは疑いない。皇居でも2001年から発生が確認されているが，その密度は低く，赤坂御用地でも，大発生といえるほどの発生は見えない。

3. マイマイガ *Lymantria dispar* (Linnaeus)

1♂, 22. VII. 2003.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

4. チャドクガ *Arna pseudoconsersa* (Strand)

1♂2♀, 21. X. 2003.

皇居，自然教育園両地から記録されているが，皇居では1♀しか採集されていないし，幼虫がサザンカやツバキに発生しているのを確認していない。赤坂御用地内では，数ヶ所で幼虫の集団を見ている。庭園の清掃・管理などで，幼虫の集団は見つけ次第取り除かれていると思われるが，お濠に囲まれている皇居より，赤坂御用地の方が周囲からの雌成虫の侵入がはるかに容易であろう。

5. ゴマフリドクガ *Somena pulverea* (Leech)

1♀, 22. VII. 2003; 1♂2♀, 16. IX. 2003; 2♀, 21. X. 2003.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

ヒトリガ科 Arctiidae

コケガ亜科 Lithosiinae

1. キシタホソバ *Eilema aegrota* (Butler) (Fig. 79)

1♂, 22. V. 2002; 1♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♂1♀, 22. VII. 2003.

自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていない。

2. ヤネホソバ *Eilema fuscodorsalis* (Matsumura) (Fig. 80)

1♂, 16. IX. 2003.

自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていない。

3. キマエクロホソバ *Ghoria collitoides* Butler

1♂, 25. VI. 2004.

皇居，自然教育園両地で採集されていない。

4. スジベニコケガ *Barsine striata* (Bremer et Grey)

1♀, 23. V. 2002.

自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていない。

5. スカシコケガ *Nudaria ranruna* (Matsumura)

1♀, 25. VI. 2004.

皇居，自然教育園両地で採集されていない。

ヒトリガ亜科 Arctiinae

6. スジモンヒトリ *Spilarctia seriato-punctata* (Motschulsky)

2♂, 12. V. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

7. カクモンヒトリ *Lemyra inaequalis* (Butler)

1♀, 6. VIII. 2003.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

8. キハラゴマダラヒトリ *Spilosoma lubricipedum* (Linnaeus)

1♂, 12. V. 2003; 1♂, 8. VII. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

コブガ科 Nolidae

1. シロフチビコブガ *Manoba microphasma* (Butler)

1♂, 22. VIII. 2002; 1♀, 24. IX. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♂, 16. IV. 2004; 2♂2♀, 16. IV. 2004; 2♂2♀, 27. V. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

2. イナズマコブガ "*Meganola*" *triangulalis* (Leech) (Fig. 81)

1♀, 16. IX. 2003.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 暖地性の種で, 従来, 伊豆半島までの記録があった (井上, 1982).

ヤガ科 Noctuidae

ケンモンヤガ亜科 Acronictinae

1. シマケンモン *Craniophora fasciata* (Moore)

1♀, 21. X. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

キノコトウ亜科 Bryophilinae

2. キノコトウ *Cryphia mitsuhashi* (Marumo)

2♂, 16. IX. 2003.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

タバコガ亜科 Heliethinae

3. オオタバコガ *Helicoverpa armigera* (Hübner)

1♀, 11. IX. 2002.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

モンヤガ亜科 Noctuinae

4. タマナヤガ *Agrotis ipsilon* (Hüfnagel)

1♂, 24. IX. 2002; 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1♂, 16. IX. 2003; 1♂, 14. VII. 2004; 4♂, 22. VII. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

5. カブラヤガ *Agrotis segetum* (Denis et Schiffermüller)

2 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 2♀, 16. IV. 2004; 1♀, 22. VII. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

6. クロクモヤガ *Hermonassa cecilia* Butler

1♂, 17. X. 2002; 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1♂, 12. V. 2003; 8♂, 21. X. 2003; 2♂, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

7. ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hübner)

1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1 ex., 25. XI.-6. XII. 2002, (MT); 1 ex., 1. IV.-15. IV. 2003, (MT); 1 ex., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 1♂, 22. VII. 2003; 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 3 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂, 20. I. 2004; 1♂, 9. III. 2004; 1♂, 25. VI. 2004; 1♀, 14. VII. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

8. コウスチャヤガ *Diarsia deparca* (Butler)

1♀, 24. IX. 2002; 3 exs., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1♀, 12. V. 2003; 6 exs., 28. IV.-13. V. 2003, (MT); 2 exs., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT); 1 ex., 10. VI.-17. VI. 2003, (MT); 1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 24. VI.-1. VII. 2003, (MT); 1♀, 22. VII. 2003; 2 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 8 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 2♂2♀, 21. X. 2003; 1♂, 3. XII. 2003; 1♂, 3. II. 2004; 1♂, 9. III. 2004; 4♂3♀, 16. IV. 2004; 1♂, 27. V. 2004; 2♂, 25. VI. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

9. オオバコヤガ *Diarsia canescens* (Butler)

1♂, 23. V. 2002; 6 exs., 28. IV.-13. V. 2003, (MT); 6 exs., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 3 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 2♂2♀, 21. X. 2003; 1♂, 16. IV. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

10. アカフヤガ *Diarsia pacifica* Boursin

1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

11. ウスチャヤガ *Xestia dilatata* (Butler)

1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT).

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

12. カギモンヤガ *Cerastis pallescens* (Butler)

4 exs., 4. III.-18. III. 2003, (MT); 6 exs., 18. III.-1. IV. 2003, (MT); 5 exs., 1. IV.-15. IV. 2003, (MT); 1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT); 2♂, 16. IV. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

ヨトウガ亜科 Hadeninae

13. ヨトウガ *Mamestra brassicae* (Linnaeus)

4 exs., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT); 2♀, 12. V. 2003; 3 exs., 28. IV.-13. V. 2003, (MT); 1 ex., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 4 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

14. キミヤクヨトウ *Dictyestra dissecta* (Walker)

1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT).

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

15. ハマオモトヨトウ *Brithys crini* (Fabricius) (Fig. 82)

1♀, 16. IX. 2003.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。暖地性の種で, 房総半島が北限となり, 分布は食

草のハマオモトの分布と一致するという(杉, 1982)。本調査で採集された雌は、新鮮な個体で、長距離を移動することがないということから、赤坂御用地内の植栽されたハマオモトで発生した可能性もある。

16. スモモキリガ *Anorthoa munda* (Denis et Schiffermüller)  
2♂, 18. III. 2003; 1♂, 2. III. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
17. カバキリガ *Orthosia evanida* (Butler)  
1♂, 18. III. 2003; 1♀, 9. III. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
18. クロテンキリガ *Orthosia fausta* Leech  
1♂, 3. II. 2004; 3♂1♀, 2. III. 2004; 4♂, 9. III. 2004; 1♂, 18. III. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
19. チャイロキリガ *Orthosia odiosa* (Butler)  
1♂, 18. III. 2003.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
20. クロシタキヨトウ *Mythimna placida* Butler  
1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
21. スジシロキヨトウ *Mythimna striata* (Leech)  
1♂, 24. IX. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
22. マメチャイロキヨトウ *Mythimna stolidia* (Leech)  
1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
23. マダラキヨトウ *Mythimna flavostigma* (Bremer)  
3♀, 23. V. 2002.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
24. ツマアカキヨトウ *Mythimna inornata* (Leech) (Fig. 83)  
1♂, 30. IV. 2002; 2♀, 12. V. 2003.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
25. アワヨトウ *Mythimna separata* (Walker)  
2 exs., 11. X.-28. X. 2002, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
26. クサシロキヨトウ *Mythimna loreyi* (Duponchel)  
1♀, 24. IX. 2002; 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。

セダカモクメ亜科 Cuculiinae

27. ナカオビキリガ *Dryobotodes intermissa* (Butler) (Fig. 84)  
4 exs., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1♀, 16. XII. 2002.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
28. キバラモクメキリガ *Xylena formosa* (Butler)  
4 exs., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 25. XI.-6. XII. 2002, (MT); 1♂4♀, 16. XII. 2002; 1 ex.,



6. I.-21. I. 2003, (MT); 1♂, 21. I. 2003, (K. Shikata); 1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
29. ミツボシキリガ *Eupsilia tripunctata* Butler  
1 ex., 5. II.-18. II. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
30. ヨスジノコメキリガ *Eupsilia quadrilinea* (Leech)  
9♂7♀, 16. XII. 2002; 1♂, 21. I. 2003; 1 ex., 6. I.-21. I. 2003, (MT); 2 exs., 21. I.-5 II. 2003, (MT);  
1 ex., 5. II.-18. II. 2003, (MT); 1 ex., 18. III.-1. IV. 2003, (MT); 4♂1♀, 3. XII. 2003; 2♂, 17. XII.  
2003; 1♂, 7. I. 2004; 1♀, 3. II. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。晩秋から冬に活動するセダカモクメ亜科のキリ  
ガ類の中で, もっとも多く見られる種である。2003年12月17日の調査で, ダイオウマツ *Pinus*  
*palustris* の球果の鱗片の隙間に潜んでいる1♂を発見している。日中はこのような場所に隠れて  
いるものと思われるが, その中で越冬しているわけではない。ダイオウマツの球果は巨大で, 乾  
燥すると鱗片の隙間が大きく開く。しかし, いったん雨に濡れると, 隙間が完全に閉じてしま  
うので, 継続的な越冬場所にはなりえないと考えられる。
31. チャマダラキリガ *Rhynchaglaea scitula* (Butler)  
1♂2♀, 16. XII. 2002; 1♂, 17. XII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
32. クロチャマダラキリガ *Rhynchaglaea fuscipennis* Sugi  
12♂3♀, 16. XII. 2002; 1♂, 15. IV. 2003; 1♀, 3. XII. 2003; 1♀, 17. XII. 2003; 1♂, 2. III. 2004; 1  
♂, 9. III. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
33. キマエキリガ *Hemiglaea costalis* (Butler) (Fig. 85)  
13 exs., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 25. XI.-6. XII. 2002, (MT); 2♀, 16. XII. 2002; 1 ex.,  
24. XII. 2002-6. I. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
34. スギタニモンキリガ *Sugitania lepida* (Butler) (Fig. 86)  
1♂, 20. XI. 2002; 2♂12♀, 16. XII. 2002; 1 ex., 6. XII.-24. XII. 2002, (MT); 1♀, 21. I. 2003, 四  
方; 2♀, 3. XII. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
35. ナワキリガ *Conistra nawae* Matsumura (Fig. 87)  
1♂2♀, 16. XII. 2002; 1♂1♀, 17. XII. 2003; 1♀, 7. I. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
36. ホシオビキリガ *Conistra albipuncta* (Leech)  
1 ex., 18. II.-4. III. 2003, (MT); 1♀, 2. III. 2004.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
37. ウスキトガリキリガ *Telorta acuminata* (Butler)  
1 ex., 28. X-11. XI. 2002, (MT); 1 ex., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
38. ノコメトガリキリガ *Telorta divergens* (Butler)  
1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 11 exs., 28. X-11. XI. 2002, (MT); 1♂1♀, 20. XI. 2002; 33 exs.,  
11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 11 exs., 25. XI.-6. XII. 2002, (MT); 3♂9♀, 16. XII. 2002; 2 exs., 6. XII.  
-24. XII. 2002, (MT); 1♂2♀, 3. XII. 2003.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。本種の幼虫はモモ、ナシ、リンゴ、ツバキなどの花を食べることで知られている（服部，1965）。食草としてのウメは記録にないが、当然、幼虫もつくはずで、梅林内にしかけられたマレーズトラップで大量に捕獲されたのであろう。

カラスヨトウ亜科 *Amphipyrinae*

39. チャイロカドモンヨトウ *Apamea sodalis* (Butler) (Fig. 88)  
2♀, 24. IX. 2002; 1 ex., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT).  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。大田区の蛾類を岸田(1984)がまとめた際に、1949年から1950年頃、池上本門寺付近で普通に見られた蛾類の中に取り上げられていた種である。マレーズトラップで6月に採れたのが羽化後間もない個体で、9月に採集された雌は越夏後のものと思われる。東京都区内にまだ生息しているものと思われる。
40. ネスジシラクモヨトウ *Apamea hampsoni* Sugi  
1♀, 9. V. 2002; 2 exs., 13. V.-4. VI. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
41. アオフシラクモヨトウ *Antapamea conciliata* (Butler)  
3♀, 23. V. 2002; 1 ex., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 1♀, 27. V. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
42. ハジマヨトウ *Bambusiphila vulgaris* (Butler)  
2 exs., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 3 exs., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT); 1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 2 exs., 23. VII.-29. VII. 2003, (MT); 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
43. ギシギシヨトウ *Atrachea nitens* (Butler)  
3 exs., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT); 10 exs., 10. VI.-17. VI. 2003, (MT); 1♂, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
44. シロホシキシタヨトウ *Triphaenopsis lucilla* Butler  
1♂, 2. VII. 2003.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
45. アカガネヨトウ *Euplexia lucipara* (Linnaeus)  
4 exs., 28. IV.-13. V. 2003, (MT); 3 exs., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 2 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
46. マエグロシラオビアカガネヨトウ *Phlogophora albovittata* (Moore)  
1 ex., 4. VI.-10. VI. 2003, (MT).  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
47. コモクメヨトウ *Actinotia intermediata* (Bremer)  
1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
48. クロモクメヨトウ *Dypterygia caliginosa* (Walker)  
1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
49. モクメヨトウ *Axylia putris* (Linnaeus)

- 1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT); 1 ex., 28. IV.-13. V. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
50. シロスジアオヨトウ *Trachea atriplicis* (Linnaeus)  
1♂, 6. VIII. 2003; 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 4 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
51. ハスモンヨトウ *Spodoptera litura* (Fabricius)  
1♂1♀, 24. IX. 2002; 1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
52. スジキリヨトウ *Spodoptera depravata* (Butler)  
1♂, 30. IV. 2002; 1♂, 9. V. 2002; 1♂, 12. V. 2003; 1 ex., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 1♂, 2. VII. 2003; 5♂, 22. VII. 2003; 2♂, 19. VIII. 2003; 2 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 14 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 2♂, 16. IX. 2003; 1♀, 27. V. 2004; 2♂, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
53. クロテンヨトウ *Athetis cinerascens* (Motschulsky)  
1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
54. ヒメサビスジヨトウ *Athetis stellata* (Moore)  
1♀, 23. V. 2002; 3 exs., 13. V.-4. VI. 2003, (MT); 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1♀, 16. IX. 2003; 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂1♀, 27. V. 2004; 1♀, 25. VI. 2004; 1♀, 22. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
55. シロモンオビヨトウ *Athetis lineosa* (Moore)  
1♀, 27. V. 2004.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
56. ナンカイカラスヨトウ *Amphipyra horiei* Owada (Fig. 91)  
1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 2♀, 19. VIII. 2003; 1♂, 21. X. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
57. ニレキリガ *Cosmia affinis* (Linnaeus)  
1♂, 21. X. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
58. チャオビヨトウ *Nipponyx segregata* (Butler)  
1♂, 25. VII. 2002; 1♀, 22. VIII. 2002; 1♂1♀, 2. VII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
59. ベニモンヨトウ *Oligonyx vulnerata* (Butler)  
1♀, 12. V. 2003; 2♂, 16. IX. 2003.  
皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。
60. オオホシシミヨトウ *Condica illecta* (Walker)  
2 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。暖地性の種で, 長距離を移動することで知られている。
61. ミナミツマキリヨトウ *Callopietria nobilior* Eda (Fig. 89)  
2♀, 13. V.-2. VI. 2003, (MT).

皇居，自然教育園両地で採集されていない。最近，近縁種マダラツマキリヨトウ *C. repleta* から分離され，新種として記載された（枝，2000）。分布は，伊豆諸島（御蔵島，八丈島）と紀伊半島以西から台湾までの太平洋沿岸であった。本調査のマレーズトラップで捕獲された個体の前翅の特徴は原記載に一致したが，後翅はかなり黒く，後翅内方が白く，横脈紋と外横線が明瞭という本種の特徴とされた部分は一致しなかったので，交尾器の検鏡によって同定した。

62. キスジツマキリヨトウ *Calloplistria japonibia* Inoue et Sugi

1 ex., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT).

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

63. コガタツマキリヨトウ *Calloplistria pulchralinea* (Walker) (Fig. 90)

4 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 6 exs., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 2 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 3 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 6 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 4 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 11. XI. 2003.

自然教育園から記録されているが，皇居では採集されていない。暖地性の種で，皇居のモニタリング調査でも少数採集されている。今回の調査で採集されたもののうち，灯火採集で得られたものが1個体に比べ，マレーズトラップには総計25個体が入っていた。灯火に誘引されにくい種なのであろう。

トラガ亜科 *Agaristinae*

64. トビイロトラガ *Sarbanissa subflava* (Moore) (Fig. 92)

1♀, 19. VIII. 2003.

皇居，自然教育園両地で採集されていないが，最近，皇居のモニタリング調査でも採集されている。幼虫はブドウ科のツタ，ヤブカラシ，ブドウを食べ，以前はヒメトラガとともに東京の市街地でもよく見かけた種であったが，最近ではほとんど見かけることはなくなった。

フサヤガ亜科 *Euteliinae*

65. フサヤガ *Eutelia geyeri* (Felder et Rogenhofer)

1♂, 2. VII. 2003; 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂, 18. II. 2004.

皇居，自然教育園両地から記録されている。

キノカワガ亜科 *Sarothripinae*

66. リュウキュウキノカワガ *Risoba prominens* Moore

1♀, 22. VII. 2003.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。ヤマモモヒメハマキと同じく，植栽のヤマモモに依存していると思われる。

67. キノカワガ *Blenina senex* (Butler)

1♀, 27. V. 2004.

皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。

68. ネスジキノカワガ *Garella ruficirra* (Hampson)

1♂, 17. X. 2002; 1 ex., 28. X.-11. XI. 2002, (MT).

皇居，自然教育園両地から記録されている。

69. クロスジキノカワガ *Nycteola asiatica* (Krulikowski)

1♂, 20. XI. 2002; 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).

皇居，自然教育園両地で採集されていない。

70. クロテンキノカワガ *Nycteola dufayi* Sugi  
 1♂1♀, em. 3. VI. 2003, ex *Lithocarpus edulis* マテバシイ.  
 皇居, 自然教育園両地で採集されていない. マテバシイの新芽を綴っていた幼虫を採集した.

## リング亜科 Chloephorinae

71. アカマエアオリングガ *Earias pudicana* Staudinger  
 1♂, 25. VI. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている.
72. ベニモンアオリングガ *Earias roseifera* Butler  
 1♀, 12. V. 2003; 1♂, 2. VII. 2003; 1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT); 1♂, 25. VI. 2004.  
 皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

## コヤガ亜科 Acontiinae

73. シラホシコヤガ *Enispa bimaculata* (Staudinger)  
 1♀, 27. V. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 早春に, カシ類やサクラ, ウメの樹幹に広がる粉状地衣類に幼虫がついているが, ハエ類に寄生されて羽化してこない. その後の皇居のモニタリング調査でも本種の幼虫は発見されている.
74. シマフコヤガ *Corgatha nitens* (Butler)  
 1 ex., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT).  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている.
75. シロスジシマコヤガ *Corgatha dictaria* (Walker)  
 2 exs., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
 皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
76. ウスグロホソコヤガ *Araeopteron nebulosum* Inoue  
 2♂, 12. V. 2003; 1♀, 27. V. 2004.  
 皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.
77. ヒメネジロコヤガ *Maliattha signifera* (Walker)  
 1♂, 23. V. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 2 exs., 19. VIII.–2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 1♀, 24. VI. 2004; 1♀, 22. VII. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている.
78. シロヒシモンコヤガ *Micardia argentata* Butler  
 4♂3♀, 12. V. 2003; 1♂, 22. V. 2003; 1♀, 27. V. 2004.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている.
79. フタホシコヤガ *Micardia pulchra* Butler  
 2♀, 12. V. 2003.  
 皇居, 自然教育園両地から記録されている.
80. ニセシロフコヤガ *Sugia erastroides* (Draudt)  
 1♀, 27. V. 2004.  
 自然教育園から記録されているが, 皇居では採集されていない.
81. ネモンシロフコヤガ *Sugia idiostygia* (Sugi)  
 2♀, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

82. サビヒロコヤガ *Amyna stellata* Butler

1♀, 19. VIII. 2003.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

キンウワバ亜科 Plusiinae

83. イラクサマダラウワバ *Abrostola triplasia* (Linnaeus)

1 ex., 1. IV.–15. IV. 2003, (MT); 1♂, 12. V. 2003.

皇居, 自然教育園両地で採集されていない.

84. ユミガタマダラウワバ *Abrostola abrostolina* (Butler)

2♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 24. IX. 2002; 2 exs., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

85. セアカキンウワバ *Erythroplusia pyropia* (Butler)

1 ex., 23. VII.–29. VII. 2003, (MT); 1 ex., 12. VIII.–19. VIII. 2003, (MT).

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

86. タマナギンウワバ *Autographa nigrisigna* (Walker) (Fig. 94)

1 ex., 11. X.–28. X. 2002, (MT); 1 ex., 15. IV.–28. IV. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地で採集されていない. 皇居の調査では, 本種と同属のガマキンウワバ *A. gamma* が採集され, 本種が採集されていないことを強調しておいた (大和田ほか, 2000). 日本に広く分布し普通に見られるのは本種の方である. ガマキンウワバの発生は不規則で, 移動, 定着, 消滅を繰り返しているものと思われる.

87. イネキンウワバ *Plusia festucae* (Linnaeus)

1♀, 6. VIII. 2003.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない.

88. キクキンウワバ *Thysanoplusia intermixta* (Warren)

1♂, 30. IV. 2002; 1 ex., 11. XI.–25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 18. III.–1. IV. 2003, (MT); 1♂, 19. VIII. 2003; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

89. エゾギクキンウワバ *Ctenoplusia albostrata* (Bremer et Grey)

1♀, 24. IX. 2002; 2 exs., 24. IX.–11. X. 2002, (MT); 1♂, 17. X. 2002; 1 ex., 28. X.–11. XI. 2002, (MT); 1 ex., 11. XI.–25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 25. XI.–6. XII. 2002, (MT); 1 ex., 29. VII.–6. VIII. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.–14. X. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

90. ミツモンキンウワバ *Ctenoplusia agnata* (Staudinger)

1♀, 22. VIII. 2002; 1♂2♀, 24. IX. 2002; 2 exs., 24. IX.–11. X. 2002, (MT); 3♂2♀, 17. X. 2002; 3 exs., 11. X.–28. X. 2002, (MT); 1 ex., 25. XI.–6. XII. 2002, (MT); 1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 15. VII.–23. VII. 2003, (MT); 2♂1♀, 19. VIII. 2003; 1 ex., 2. IX.–16. XI. 2003, (MT); 1♀, 16. IX. 2003; 7 exs., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT); 1♂, 21. X. 2003; 1♀, 11. XI. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

91. イチジクキンウワバ *Chrysodeixis eriosoma* (Doubleday)

1♀, 9. V. 2002; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT); 1♂, 21. X. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている.

92. ウリキンウワバ *Anadevidia peponis* (Fabricius)

1♀, 24. IX. 2002; 1♂, 17. X. 2002; 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 3 exs., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 1. IV.-15. IV. 2003, (MT); 4♂, 19. VIII. 2003; 3 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂, 11. XI. 2003.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

シタバガ亜科 Catocalinae

93. アシブトクチバ *Dysgonia stuposa* (Fabricius)  
1♂, 6. VIII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
94. ホソオビアシブトクチバ "*Parallelia*" *arctotaenia* (Guenée)  
1♀, 23. V. 2002; 1♀, 20. VIII. 2002, (Y. Saito); 2♂, 24. IX. 2002.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
95. オオウンモンクチバ *Mocis undata* (Fabricius)  
1♂, 20. VIII. 2002, (Y. Saito); 1♀, 22. VIII. 2002; 1♀, 24. IX. 2002; 1♂, 14. VII. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
96. ムクゲコノハ *Lagoptera juno* (Dalman)  
1♀, 22. VIII. 2002; 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 2 exs., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 1♂, 22. VII. 2003; 3 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♂, 22. VII. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
97. フクラスズメ *Arcte coerulea* (Guenée)  
1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1 ex., 11. XI.-25. XI. 2002, (MT); 1 ex., 4. III.-18. III. 2003, (MT); 1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT); 1♀, 22. VII. 2004.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

クチバ亜科 Ophiderinae

98. モクメクチバ *Perinaenia accipiter* (Felder et Rogenhofer)  
1♀, 9. V. 2002; 1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 3. II. 2004; 2♀, 16. IV. 2004.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
99. ワタアカキリバ *Anomis flava* (Fabricius)  
1 ex., 24. IX.-11. X. 2002, (MT).  
皇居, 自然教育園両地で採集されていない。
100. アカキリバ *Anomis mesogona* (Walker)  
1 ex., 15. IV.-28. IV. 2003, (MT); 1♀, 12. V. 2003.  
皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。
101. アカエグリバ *Oraesia excavata* (Butler)  
1♀, 2. VII. 2003.  
皇居, 自然教育園両地から記録されている。
102. アケビコノハ *Eudocima tyrannus* (Guenée)  
1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003.

- 皇居，自然教育園両地から記録されている。
103. アカテックチバ *Erygia apicalis* Guenée  
2 exs., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
104. ハガタクチバ *Daddala lucilla* (Butler)  
1♂, 21. X. 2003.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
105. ナカジロシタバ *Aedia leucomelas* (Linnaeus)  
1♂1♀, 16. IX. 2003.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
106. カザリツマキリアツバ *Tamba igniflua* (Wileman et South) (Fig. 93)  
1♂, 12. V. 2003.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
107. チョウセンツマキリアツバ *Tamba corealis* (Leech)  
1♂, 19. VIII. 2003; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。 *Tamba* 属 2 種は，暖地性の種で，照葉樹林に見られる。
108. ミツボシツマキリアツバ *Pangrapta vasava* (Butler)  
1♂, 22. VIII. 2002.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。
109. リンゴツマキリアツバ *Pangrapta obscurata* (Butler)  
1♂, 23. V. 2002; 1♀, 27. V. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
110. ニセミカドアツバ *Lophomilia takao* Sugi  
1♀, 2. VII. 2003.  
皇居，自然教育園両地で採集されていない。 *Tamba* 属 2 種と同様の環境に生息する。
111. オオトウアツバ *Panilla petrina* (Butler)  
1♂, 22. VII. 2004.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
112. スジモンアツバ *Microxyla confusa* (Wileman)  
1♂, 17. X. 2002; 1 ex., 23. VII.–29. VII. 2003, (MT); 1♂, 27. V. 2004.  
皇居，自然教育園両地から記録されている。
113. テンクロアツバ *Rivula sericealis* (Scopoli)  
1♂, 22. VIII. 2002; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT).  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
114. フタテンアツバ *Rivula inconspicua* (Butler)  
1 ex., 24. IX.–11. X. 2002, (MT); 1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 16. IX.–30. IX. 2003, (MT); 1♂, 16. IV. 2004.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
115. クリイロアツバ *Rivula plumipars* Hampson  
1♂, 23. V. 2002; 1♂, 2. VII. 2003; 1 ex., 23. VII.–29. VII. 2003, (MT); 2♂, 27. V. 2004.  
皇居から記録されているが，自然教育園では採集されていない。
116. シロズアツバ *Ectogonia butleri* (Leech)



1♀, 12. V. 2003; 1 ex., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT).

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

117. クロスジヒメアツバ *Schrankia costaestrigalis* (Stephens)

1♂, 9. V. 2002; 1♂, 17. X. 2002; 1♂, 16. IX. 2003; 1♀, 21. X. 2003; 1♂, 11. XI. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

アツバ亜科 Hypeninae

118. ナカジロアツバ *Harita belinda* (Butler)

1♀, 22. VIII. 2002.

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

119. クロキシタアツバ *Hypena amica* (Butler)

1♂, 30. IV. 2002; 1♂, 9. V. 2002; 1♂, 23. V. 2002; 2♀, 24. IX. 2002; 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

120. タイワンキシタアツバ *Hypena trigonalis* (Guenée)

1♂, 30. IV. 2002; 3♂1♀, 9. V. 2002; 2♀, 23. V. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

121. ナミテンアツバ *Hypena strigatus* (Fabricius)

1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).

自然教育園から記録されているが、皇居では採集されていない。

122. ヒトスジクロアツバ *Hypena furva* Wileman (Fig. 95)

1♀, 30. IV. 2002; 1 ex., 24. VI.-1. VII. 2003, (MT); 2 exs., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT); 1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT).

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。採集記録のきわめて少ない種であるが、皇居には確実に生息しており、赤坂御用地でも採集できた。マレーズトラップにも入っているので、本種は灯火にはあまり飛来しないのかもしれない。

123. アオアツバ *Hypena subcyanea* Butler (Fig. 96)

2 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 2♂1♀, 17. X. 2002; 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。暖地性の種で、最近、関東地方でも記録が見られるようになった。赤坂御用地では9月と10月に採集されているが、皇居と自然教育園も同様に、関東地方南部では越冬できず、夏に侵入・定着後、冬に消滅を繰り返している可能性が考えられる。

124. コテングアツバ *Hypena pulverulenta* Wileman

1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT).

皇居から記録されているが、自然教育園では採集されていない。

125. ハングロアツバ *Bomolocha squalida* (Butler)

1♂, 30. IV. 2002; 1♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地で採集されていない。

クルマアツバ亜科 Herminiinae

126. フタキボシアツバ *Gynaephila maculifera* Staudinger

1♂, 9. V. 2002; 1♀, 22. VIII. 2002; 1♂1♀, 19. VIII. 2003; 21 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1♀,

## 22. VII. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。 *Gynaephila* は, 従来, シタバガ亜科やクチバガ亜科のものとして扱われていたが, 本亜科に置く方が良さそうである。このことについては, 常盤松御用邸の蛾類の報告でその理由と文献を出している (大和田ほか, 2005)。

127. フジロアツバ *Adrapsa notigera* (Butler)

48 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 28 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 3 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 3♂, 27. V. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

128. ソトウスグロアツバ *Hydrillodes lentalis* Guenée

1♀, 23. V. 2002; 1♂, 25. VII. 2002; 1♂, 22. VIII. 2002; 1♂, 24. IX. 2002; 2 exs., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 2 exs., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 2 exs., 24. VI.-1. VII. 2003, (MT); 5 exs., 1. VII.-8. VII. 2003, (MT); 5 exs., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT); 3♂, 22. VII. 2003; 4 exs., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 1 ex., 23. VII.-29. VII. 2003, (MT); 1♂, 19. VIII. 2003; 27 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 13 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 2♂, 16. IX. 2003; 5 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 3 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♂, 21. X. 2003; 1♂, 25. VI. 2004.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

129. ヒロオビウスグロアツバ *Hydrillodes morosa* (Butler)

1♂, 9. V. 2002; 1♀, 12. V. 2003; 1♂3♀, 16. IV. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

130. オオアカマエアツバ *Simplicia nippona* (Butler)

1 ex., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 24. VI.-1. VII. 2003, (MT); 2♀, 22. VII. 2003; 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 1♂, 19. VIII. 2003; 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1♀, 11. IX. 2003; 2 exs., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT).

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

131. ニセアカマエアツバ *Simplicia xanthoma* Prout

3 exs., 17. VI.-24. VI. 2003, (MT); 1 ex., 8. VII.-15. VII. 2003, (MT); 3 exs., 29. VII.-6. VIII. 2003, (MT); 2 exs., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 20 exs., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 9 exs., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 1 ex., 30. IX.-14. X. 2003, (MT).

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

132. ウスキミスジアツバ *Herminia arenosa* Butler

1♀, 9. V. 2002; 1♂1♀, 23. V. 2002; 1♀, 27. V. 2004.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

133. トビスジアツバ *Herminia tarsicrinalis* (Knoch)

1♂, 9. V. 2002; 1♂, 12. V. 2003.

皇居から記録されているが, 自然教育園では採集されていない。

134. オオシラミアツバ *Hipoepa fractalis* (Guenée)

2 exs., 24. IX.-11. X. 2002, (MT); 1 ex., 11. X.-28. X. 2002, (MT); 1 ex., 15. VII.-23. VII. 2003, (MT); 1 ex., 12. VIII.-19. VIII. 2003, (MT); 1 ex., 19. VIII.-2. IX. 2003, (MT); 1 ex., 2. IX.-16. XI. 2003, (MT); 1 ex., 16. IX.-30. IX. 2003, (MT); 2 exs., 30. IX.-14. X. 2003, (MT); 1♀, 21. X. 2003.

皇居, 自然教育園両地から記録されている。

## 考 察

2002年から2004年まで、約2年半の期間に赤坂御用地の鱗翅類相を調査し、45科463種の蛾類と、7科31種の蝶類を採集することができた。

## 蛾類相調査の調査法の比較

赤坂御用地の蛾類相を、これまでの皇居（大和田ほか、2000）と自然教育園（大和田ほか、2001）の蛾類相と比較するにあたって、調査法やその回数・精度について比較検討しておく必要がある。以後、皇居、自然教育園とあるのは、上記の記録をさす。

皇居の調査は1996年4月から2000年6月まで延べ60回行った。灯火採集は原則として月1回、12月から3月までの冬期の調査を月2-3回行っている。1996年は大和田が灯火採集をただけであったが、1997年から有田が小蛾類調査に参加して日中の幼虫と成虫の採集をはじめ、また、調査はチームを組んで2-3人、多いときは5人でやっている。一方、自然教育園では1998年9月から2000年10月まで、延べ21回、灯火採集を主体にし、同時に昼の成虫と幼虫の調査も11回行った。調査人数は2-3人が多かった。赤坂御用地の調査は前記のとおりで、2002年4月から2004年7月まで延べ36回、そのうちトンボの調査時などに蝶類を主体に調査した5回を除くと、蛾類調査は31回となる。また、本調査ではマレーズトラップにかかった蛾類も記録しており、このトラップでしか採集できなかった種は33種であった。

出現種数は、皇居が501種、赤坂御用地が463(430+33)種、そして、自然教育園が316種である(Table 2)。調査の回数が多ければ、総出現種数は増加するが、その伸び率は、ある程度調査回数が増えると急速に鈍っていく(河合、2000, fig. 57)。それぞれの出現種数の差は、調査回数の差として表れているものと思われ、これら3地区の蛾類相の構成種数には、あまり相違がないと判断される。この一連の調査は、ほぼ同じ調査員によって、同じ採集方法で継続されてきたので、出現種数の割合はほとんど変わらない。Table 2では便宜的に分類学的研究の遅れている小型種の群(小蛾類)と、同定の比較的容易な大型種の群(大蛾類)とに分けて集計したが、自然教育園で確認できた小蛾類と大蛾類の種数は、それぞれ皇居の62%と63%であった。また、赤坂御用地の調査は、マレーズトラップでしか採集されていない33種(すべて大蛾類)が加わっているので、これを差し引いて皇居の出現種数と比べると、それぞれ88%と83%であった。これら3地区の調査が、ほぼ均一に行われたことの結果と思われる。

## 赤坂御用地の蛾類相の特徴

Table 2では、赤坂御用地、皇居、自然教育園で得られた蛾類の科別の種数を示し、赤坂御用地だけで採集された種数、それぞれに共通して出現した種数、それに、3地区ともに出現した種数を出した。赤坂御用地の種数が皇居を上回った科は4科、ヒロズコガ科、スカシバガ科、ドクガ科とヒトリガ科である。このうち、ヒロズコガ科には、キノコや動物の遺体を食べる種が多く、偶然採集されることが多いので、この数字にどこまで意味があるか不明である。また、スカシバガ科は皇居のモニタリング調査で種数を増やし、同数に追いついている。ドクガ科では、その後の皇居の調査で、赤坂御用地と皇居の出現種は一致したが、自然教育園で採集されたウチジロマイマイ *Parocneria fulva* とモンシロドクガ *Sphrageidus similis* は採集されていない。前者の幼虫はヒノキやビャクシンなどの針葉樹につき、後者は広葉樹の多食性で、クワの害虫としても知られている。一方、ヒトリガ科では皇居の4種の2倍の8種が赤坂御用地で採集されている。この差は、地衣類を主要な食草とするコケガ亜科の種が皇居から欠落していることによる。自然教育園でもコケガ亜科の種が生息するために6種が確認されており、コケガ亜科の欠落が皇居の蛾類相の特徴といえる。

Table 2. 東京都心部の大型緑地の蛾類相の比較.  
Comparison with moth faunas of large green tracts in the urban centre of Tokyo.

Family	(A)	AIPT2004 赤坂御用地	(B)	IPT2000 皇居	(C)	INST2000 自然教育園	(D)	(E)	
Hepialidae	コウモリガ科	(0)	0	(0)	1	(1)	1	(0)	(0)
Nepticulidae	モグリチビガ科	(0)	1	(1)	2	(2)	2	(1)	(1)
Adelidae	ヒゲナガガ科	(0)	2	(2)	3	(1)	1	(1)	(1)
Heliozelidae	ツヤコガ科	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	(0)
Tischeriidae	ムモンハモグリガ科	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	(1)
Psychidae	ミノガ科	(0)	1	(1)	3	(1)	1	(1)	(1)
Tineidae	ヒロズコガ科	(6)	9	(2)	6	(2)	6	(2)	(1)
Lyonetiidae	ハモグリガ科	(4)	4	(0)	1	(0)	0	(0)	(0)
Gracillariidae	ホソガ科	(8)	12	(4)	12	(1)	7	(0)	(0)
Phyllocnistidae	コハモグリガ科	(1)	2	(1)	1	(0)	0	(0)	(0)
Acrolepiidae	アトヒゲコガ科	(0)	2	(2)	2	(2)	2	(2)	(2)
Yponomeutidae	スガ科	(1)	4	(3)	4	(2)	3	(2)	(2)
Argyresthiidae	メムシガ科	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	(0)
Glyphipterigidae	ホソハマキモドキガ科	(1)	5	(4)	6	(3)	3	(2)	(2)
Zygaenidae	マダラガ科	(0)	2	(2)	2	(0)	0	(0)	(0)
Epipyropidae	セミヤドリガ科	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	(0)
Limacodidae	イラガ科	(1)	2	(1)	3	(2)	2	(1)	(1)
Sesiidae	スカシバガ科	(2)	4	(2)	3	(2)	2	(1)	(1)
Choreutidae	ハマキモドキガ科	(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	(1)
Oecophoridae	マルハキバガ科	(5)	11	(6)	15	(3)	7	(3)	(3)
Stathmopodidae	ニセマイコガ科	(1)	1	(0)	4	(0)	1	(0)	(0)
Xyloryctidae	ヒロバキバガ科	(0)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	(0)
Elachistidae	クサモグリガ科	(2)	2	(0)	1	(1)	1	(0)	(0)
Batrachedridae	ホソキバガ科	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	(1)
Coleophoridae	ツツミノガ科	(1)	1	(0)	1	(1)	1	(0)	(0)
Blastobasidae	ネマルハキバガ科	(1)	2	(1)	1	(0)	0	(0)	(0)
Cosmopterigidae	カザリバガ科	(4)	8	(3)	5	(1)	3	(2)	(1)
Lecithoceridae	ヒゲナガキバガ科	(3)	8	(4)	8	(2)	3	(4)	(3)
Gelechiidae	キバガ科	(9)	14	(5)	19	(8)	13	(1)	(1)
Tortricidae	ハマキガ科	(11)	54	(36)	75	(28)	51	(24)	(18)
Alucitidae	ニジュウシトリバガ科	(0)	2	(1)	1	(0)	0	(0)	(0)
Carposinidae	シンクイガ科	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	(0)
Subtotal	小計	(68)	164	(85)	185	(65)	116	(50)	(41)

赤坂御用地に固有に出現した種数は Table 2 の (A) の列である。小蛾類のヒロズコガ科が 9 種中 6 種、ホソガ科が 12 種中 8 種、マルハキバガ科が 11 種中 5 種、カザリバガ科が 8 種中 4 種、キバガ科が 14 種中 9 種といったところが目立つ。しかし、これらの科では分類学的研究が不十分で未同定種を多く含み、生態的知見も乏しいので、調査結果のばらつきが大きい。この結果を持って、これらの科が赤坂御用地にとくに豊富に産すると結論づけることはできない。赤坂御用地の小蛾類の小計でも、種数 164 種に対して固有出現種が 68 種 (41%) である一方、大蛾類の小計は種数 298 種に対して固有出現種が 60 種 (20%) と小蛾類の固有出現種率がかなり高いのも同様の理由からであろう。

赤坂御用地の蛾類の中で、もっとも注目されるのはセミヤドリガ科のセミヤドリガである。この蛾は、かつて調布市の深大寺で生態の調査が行われたように (前波, 1967), 東京の郊外では珍しい種ではなかった。幼虫がヒグラシなどのセミの腹部に体外寄生し、生息条件としてセミ類の発生が不可欠の種である。現在、都区内ではニイニゼミが大幅に減少し、次いでセミヤドリガの主要な寄主、ヒグラシもその声を聞くことも稀になっている。しかし、皇居や自然教育園、赤坂御用地などの大型緑地には、両者とも少なからず生息しているし、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクハウシの個体数はきわめて多い。皇居の調査が開始された 1996 年よりセミヤドリガの探索が続けられ、機会があるご

Table 2. つづき

Family		(A)	AIPT2004 赤坂御用地	(B)	IPT2000 皇居	(C)	INST2000 自然教育園	(D)	(E)
Thyrididae	マドガ科	(1)	1	(0)	1	(0)	1	(0)	(0)
Crambidae	ツトガ科	(7)	44	(35)	48	(31)	40	(28)	(26)
Pyralidae	シマメイガ科	(3)	12	(8)	20	(11)	16	(8)	(7)
Pterophoridae	トリバガ科	(0)	3	(3)	4	(1)	2	(2)	(2)
Drepanidae	カギバガ科	(1)	3	(1)	4	(2)	2	(2)	(1)
	(MT)		(1)						
Geometridae	ジャクガ科	(15)	74	(53)	78	(35)	53	(34)	(28)
	(MT)		(10)						
Uraniidae	ツバメガ科	(0)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	(0)
Saturniidae	ヤマムユガ科	(0)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	(0)
Bombycidae	カイコガ科	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(1)	(0)
Sphingidae	スズメガ科	(2)	6	(4)	10	(2)	3	(2)	(2)
	(MT)		(1)						
Notodontidae	シャチホコガ科	(1)	4	(2)	5	(1)	2	(2)	(1)
Lymantriidae	ドクガ科	(0)	5	(4)	4	(3)	7	(4)	(3)
Arctiidae	ヒトリガ科	(3)	8	(2)	4	(2)	6	(5)	(2)
Nolidae	コブガ科	(1)	2	(1)	3	(1)	1	(0)	(0)
Noctuidae	ヤガ科	(27)	134	(102)	136	(50)	67	(48)	(46)
	(MT)		(23)						
<i>Subtotal</i>	小計	(61)	299	(217)	316	(139)	200	(136)	(118)
	(MT)		(33)						
Total	総計	(129)	463	(302)	501	(206)	316	(186)	(159)
	(MT)		(33)						

赤坂御用地 (2002–2004), 皇居 (1996–2000) (大和田ほか, 2000) および自然教育園 (1998–2000) (大和田ほか, 2001) における科別採集種数, 赤坂御用地のだけで採集された固有種数と各区間の共通種数. (A): 赤坂御用地の固有種数. (B): 赤坂御用地と皇居の共通種数. (C): 皇居と自然教育園の共通種数. (D): 赤坂御用地と自然教育園の共通種数. (E): 3地域の共通種数. (MT): マレーストラップだけで採集された種数.

Number of collected species in each family of moths on the research sites. AIGT2004: Akasaka Imperial Gardens, Tokyo 2002–2004. IPT2000: Imperial Palace, Tokyo, 1996–2000 (Owada *et al.*, 2000). INST2000: Institute of Nature Study, Tokyo, 1998–2000 (Owada *et al.*, 2001). (A): Number of species collected only at AIGT2004. (B): Number of common species between AIGT2004 and IPT2000. (C): Number of common species between IPT2000 and INST2000. (D): Number of common species between AIGT2004 and INST2000. (E): Number of common species among AIP2004, IPT 2000 and INST2000. (MT): Number of species secured only by a Malaise Trap.

とにセミ類を採集し, 腹部に幼虫がついていないか確かめていた. 皇居と自然教育園では発見できなかったが, 2002年8月22日に池田真澄が腹部に白いものをつけたツクツクハウシを発見し, それを採集したところセミヤドリガの幼虫が2頭付着していた (Fig. 5). そのうちの1頭が繭を作り, 9月8日に羽化した. 残念ながら羽化の発見が遅れ, 成虫がシャーレの中で暴れてしまい, きれいな標本にはならなかったが (Fig. 72), 本種がまだ東京都心部の緑地に生息しているという証拠が残った.

### 大型種の衰退

皇居と自然教育園の調査で, 以前は東京都区内に生息していた大型の蛾類の多くが現在では消滅していることが指摘されたが, 赤坂御用地の調査でも同様の結果となった. すなわち, カギバガ科, カレハガ科, ヤマムユガ科, スズメガ科, シャチホコガ科とヒトリガ科の減少が著しい.

ヤマムユガ科のオオミズアオは皇居での生息が確認されているが, 赤坂御用地でも採集できた. 両地とも生息密度は高くなく, 定期調査での発見率はきわめて低いが, 確実に生息しているものと思われる. 本種の都区内での観察例はきわめて少ないが, 2004年の夏, 世田谷区北沢で車につぶされた雌個体を目撃しているし, 新宿区百人町でも2004年9月に, シダレザクラ *Prunus itosakura* で幼虫が発

生していた。本種は大型の緑地以外でも、東京都区内の住宅地で庭木や公園の樹木について、かろうじて発生しているものと思われるが、成虫や幼虫を確認するのは容易なことではない。

広葉樹を主たる食草とするシャチホコガ科の蛾類は、1950年代の自然教育園では14種が採集されていた(文部省国立自然教育園, 1952)。ところが20世紀末の皇居では5種、自然教育園では2種しか確認されなかった。今回の調査では4種を採集しているが、3地区で得られた総種数は7種で、3地区で共通に出現したのは1種、ササ類を食草とするキシヤチホコだけであった。しかし、サクラ類につくモンクロシャチホコ *Phalera flavescens* は赤坂御用地の調査で得られていないが、生息していることは疑いないし、同様に皇居で得られていない落葉カシ類につくツマキシヤチホコも、いずれ発見されるものと思われる。

カエデ科を食草とするクシヒゲシャチホコは皇居に多産し、赤坂御用地でも多数の飛翔が見られたが、自然教育園では採集されていない。自然教育園でもカエデ類は多いので、本種の生息の有無を再調査しなければならない。残り3種のうち、皇居だけで採集されている種はオオトビモンシャチホコ *Phalerodonta manleyi* (カシ類)とプライヤエグリシャチホコ *Lophontesia pryeri* (ケヤキ)の2種、赤坂御用地だけで採れている種はヒナシャチホコ *Micromelalopha troglodyta* (ドロ, ポプラ)1種である。これら4種は1950年代の自然教育園からも記録がないが、当時は、晩秋から初冬に発生するクシヒゲシャチホコとオオトビモンシャチホコの発生時期に調査を行っていないものと思われるし、また、残り2種も、調査で偶然採集されなかった可能性が高い。

1950年代の前半に自然教育園から記録のあるもので、この一連の調査で採集できなかった種は11種で、広葉樹多食性のシャチホコガ *Stauropus fagi* を除くと、すべて狭食性の種であった。すなわち、ブナ科のカシ類につくセダカシャチホコ *Rabta cristata*、ホソバシャチホコ *Fentonia ocypete*、ギンシャチホコ *Harpyia umbrosa*、マメ科のフジやハギ類につくオオエグリシャチホコ *Pterostoma sinicum*、ヒメシャチホコ *Neostauropus basalis*、“トビロエグリシャチホコ”=トビギンボシシャチホコ *Eguria ornata*、カエデ科につくクビワシャチホコ *Shaka atrovittatus*、ギンモンズズメドモドキ *Tarsolepis japonica*、ニレ科のムクノキやアキニレにつくムクツマキシヤチホコ *Phalera angustipennis*、ササ食のウスキシヤチホコ *Mimopydna pallida* である。これらの種はマレーズトラップにもかかからなかったもので、都区内から消滅してしまった可能性が高い。また、東京都八王子市の高尾山には分布するクロシタシャチホコ *Mesophalera sigmata* とホソバネグロシャチホコ *Disparia variegata* の幼虫は、常緑のツバキ科植物を食べ、照葉樹林を代表する種といえるが、50年代の自然教育園にはすでに生息していなかったことも注目すべきである。

### 冬期に活動する蛾類の多様性

シャクガ科のフユシャクガ類や、ヤガ科のキリガ類は、晩秋から早春にかけての寒冷な時期に成虫が飛ぶ。皇居の調査で、これらの群集が、多摩丘陵の雑木林のものに匹敵するくらい多様性に富んでいることが指摘されたが、赤坂御用地においても、皇居に近い多様性を保持していたし、個体数も多かった。両地で採集された種は、シャクガ科が11種、ヤガ科が22種の合計33種を数える。このうち皇居で採集されていない種を挙げると、コナミフユナミシャク、チャエダシャク、ニトベエダシャク、ナカオビキリガの4種、一方、皇居で採集されているが、赤坂御用地で採集できなかった種は、シロオビフユシャク *Alsophila japonensis*、オカモトトゲエダシャク *Apochima juglansiararia*、クロスジキリガ *Xylopolia bella*、ホソバキリガ *Orthosia angustipennis*、クロミキキリガ *Orthosia lizetta*、カシワオビキリガ *Conistra ardescens* とイチゴキリガ *Orbona fragariae* の7種であった。なお、自然教育園ではこれらの蛾類はあまり多く出現しておらず、シャクガ科が4種、ヤガ科が5種にすぎなかった。

樹木食のシャチホコガ科の蛾類が衰退した中で、幼虫が同じ樹木食の冬のシャクガやヤガが皇居や赤坂御用地に豊産するのはなぜだろうか。冬期に活動する蛾類の利点として、鳥類などの捕食圧が低

いことに加えて、これらの蛾の走光性が比較的弱いことが指摘されているが(大和田, 2004), それだけではこの差は生じないであろう。シャチホコガ科の蛾類と、冬期に活動するこれらの蛾類のうちひとつの大きい相違点として、幼虫の食性の幅の違いが指摘できる。シャチホコガ科の幼虫は前項で示したとおり、食草としてある特定の科のものしか食べない狭食性の種が多い。一方、冬に活動する蛾類の幼虫の多くは数科にわたる樹木を食草として利用している多食性である(山本ほか, 1987)。また、移動力の差もあるのかもしれない。周囲からの補充がなければ、ある要因で個体数が激しく減少した個体群の回復は難しくなるであろう。なお、現在の赤坂御用地、皇居、自然教育園の森には、消滅したと推定されるシャチホコガ科 11 種の食草はすべて十分に生育している。

### 赤坂御用地の蝶類相

吉田・安藤(2002)は、赤坂御用地内に 3.5 km のルートを設定し、トランセクト調査を 1997 年 9 月から 1999 年 4 月まで 6 回行い、観察された蝶類群集の解析を行っている。この結果、6 科 24 種を記録している。なお、この調査は目視による同定のため、チャバネセセリがイチモンジセセリと区別されていない可能性を示唆している。今回の赤坂御用地の調査では、この結果よりもはるかに多い種数を出しているが、吉田・安藤(2002)が記録した種の中で、モンキアゲハ、アカタテハ、ルリタテハの 3 種は採集されていない。この 3 種を今回の結果に加えると、合計 34 種の蝶類が 1997 年から 2004 年までの 8 年間に赤坂御用地で確認されたことになる。

久居ほか(2000)は、皇居の吹上御苑とその周辺の蝶類を 1996 年から 2000 年にわたって調査し、7 科 37 種を記録している。皇居で観察され、赤坂御用地で確認されなかった種は、ジャコウアゲハ、ミズイロオナガシジミ、ゴイシジミ、ウラナシジミ、テングチョウ、ヒメアカタテハの 6 種であった。このうち外からの侵入と考えられるゴイシジミ、ウラナシジミ、ヒメアカタテハを除くと、蝶類相の皇居と赤坂御用地の相違点は、ジャコウアゲハ、ミズイロオナガシジミ、テングチョウのみとなる。吉田・安藤(2002)は赤坂御用地でのジャコウアゲハの欠落については庭園管理のため定期的に行われている草刈りをあげ、テングチョウについては見落としの可能性を示唆している。赤坂御用地内にはコナラの老木もあり、カシワも植栽されているので、ミズイロオナガシジミの利用できる食樹はあるが、その数はあまりにも少ない。本種はクヌギの植栽林がある皇居や、コナラが多い自然教育園では残ることができたが、赤坂御用地ではある段階で消滅してしまった可能性が高い。皇居からの移動による補充もほとんどないものと考えられる。

一方、皇居との類似性を取り上げれば、赤坂御用地で確認された 34 種のうち、33 種が共通する。ただ 1 種、皇居で 2000 年までに採集されていなかった種は、最近東京に侵入してきたナガサキアゲハだけである。両地の蝶類相は、ほとんど均一といえるくらい類似しているといえよう。赤坂御用地と皇居は 1.5 km を隔てているだけである。おそらく、両地の蝶類は独自にその群集が成立したのではなく、ある程度交流しながら現在の群集として成立したものであろう。現在、両者の間にどの程度の交流があるかは不明であるが、飛翔力のある大型から中型の蝶類の移動は不可能ではないだろうし、外部からの侵入も同程度のものであろう。また、久居・矢野(2001)が明らかにした港区白金台の自然教育園の現在の蝶類相も、皇居と赤坂御用地の蝶類相に酷似していることを指摘しておきたい。これらの大型緑地は、都区内でもっとも豊かな自然が残されており、植生も類似している。なお、自然教育園は皇居と赤坂御用地から約 5 km 南に位置する。

新宿御苑は赤坂御用地の北西に近接しており、同等の敷地面積を有する。自然環境研究センター(2003)の 2002 年の動物調査では 24 種の蝶類が記録されている。調査の密度や精度が異なると思われるので、そのまま比較することはできないが、新宿御苑では、野原や林縁にいるモンキチョウ、ベニシジミ、ヒメウラナミジャノメが記録に出していないのが注目される。赤坂御用地では、これら 3 種はとくに目立つ種ではないが、比較的“よく見かける”種である。1 年間、月 1 回程度の調査で得られる

種数は、皇居、赤坂御用地および自然教育園では 30 種前後であろう。

都市公園間の蝶類群集の比較については、石井ほか (1991) が大阪府で行った研究がある。大阪府の都市公園は成立の歴史が浅く、造成した部分が多いので出現種数が比較的少ない。1 年間の調査で出現種数のもっとも多かった箕面公園 (35 種) を原始～農村段階に、次いで服部緑地 (32 種) を農村段階に、残りの公園 (22–14 種) を農村～都市段階と、その自然段階を評価している。関東平野の辺縁にあり、市街地の中に孤立する東京都区部の大型緑地の蝶類群集の多様性が、里山や自然林が残る丘陵地にある箕面公園や服部緑地に近いということは、注目される。東京都区内の大型緑地は、江戸時代から続く武家屋敷や庭園、牧場や鷹狩場などの御料地をもとにして成立したものである。明治時代からの市街化、関東大震災、太平洋戦争での東京大空襲など、大きい環境変化の影響もほぼ同程度に受けてきたはずで、道路やビル群による孤立化も同時に進行してきたと考えられる。江戸時代から引き継がれた里山的環境が、赤坂御用地をはじめ、皇居や自然教育園には残っているのであろう。

スジグロシロチョウは、1970 年代より東京の市街地で目立つようになった (日高, 2003)。この発生状況は長く継続していたが、都区内では近年になって、その姿をほとんど見かけなくなった。東京と大阪周辺のモンシロチョウとスジグロシロチョウの地域個体群で遺伝子の多様性を比較した研究がある (Takami *et al.*, 2004)。この研究の資料の収集は 2000 年 10 月から 3 年間にわたって行われ、東京の市街地の緑地や住宅地で採集が何度も試みられたが、東京都区内からはスジグロシロチョウは採集できず、皇居のモニタリング調査で得られた資料しか使うことができなかった (小汐, 私信)。赤坂御用地内での両種の関係は、ともに普通に見られ、ときにはスジグロシロチョウがモンシロチョウの個体数を上まわることもあった。皇居でも本種は多く見られ (久居ほか, 2000)、自然教育園では 1970 年代にはモンシロチョウより個体数が多かったようだが (桜井ほか, 1972)、近年はやや減少する傾向が見られるという (久居・矢野, 2001)。良好な環境の残された都内の大型緑地では本種の発生は保持されている。

### Summary

Four hundred and sixty-three species of moths in 45 families and 31 species of butterflies in 7 families were collected in the Akasaka Imperial Gardens, ca. 51 ha in area, central Tokyo. The survey was carried out from 2002 to 2004 by using a light, sugar bait and a Malaise traps and by ordinary day-time collectings of adults and larvae. All the collecting data are given in the list, in which some noteworthy moths and butterflies are commented in comparison with the records at the Imperial Palace, Tokyo, 1996–2000 (Owada *et al.*, 2000) and of the garden of the Institute for Nature Study, Tokyo, 1998–2000 (Owada *et al.*, 2001) (Table 2).

Two larvae of *Epiponponia nawai*, an external parasite of cicadas, were discovered on the body of a male *Meimuna opalifera* (Fig. 5). It is worth noting that this ecologically interesting moth still survives in a large green tract of the urban centre of Tokyo.

As was already pointed out by Owada *et al.* (2000, 2001), such larger moths as the Drepanidae, Lasiopampidae, Saturniidae, Sphingidae, Notodontidae and Arctiidae, are endangered or extinct in the city area of Tokyo. The largest moth, still surviving in Tokyo, is *Actias artemis*, Saturniidae, which was discovered not only in the Akasaka Imperial Gardens but also in Shinjuku, near NSMT, and Setagaya in 2004.

In the early 1950's, 14 species of notodontid moths were recorded in the garden of the Institute for Nature Study, Tokyo (Monbusho National Institute for Nature Study, 1952). On the contrary, five species were discovered in the Imperial Palace (Owada *et al.*, 2000), two in the Institute for Nature Study (Owada *et al.*, 2001), and four in the Akasaka Imperial Gardens in this study. The total number of species collected in those surveys is seven, in which four species, *Phalelodonta manleyi*, *Ptilophora nohirae*, *Lophontesia pryeri*



and *Micromelalopha troglodita*, were not listed the 1950's survey. These moths would have inhabited the urban area of Tokyo in those days, because the former two species fly only in the winter season, and the latter two is also common in the suburb of Tokyo. In these 50 years, the following 11 notodontid species are considered to have become extinct from large green tracts of the Tokyo city area: *Stauropus fagi*, *Rabta cristata*, *Fentonia ocypete*, *Harpyia umbrosa*, *Pterostoma sinicum*, *Neostauropus basalis*, *Eguria ornate*, *Shaka atrovittatus*, *Tarsolepis japonica*, *Phalera angustipennis* and *Mimopydna pallida*.

On the other hand, diversity of winter moths in the Akasaka Imperial Palace and the Imperial Place Gardens, Tokyo, is retained at a level as high as on the hills of the suburbs of Tokyo, 11 geometrid and 22 noctuid species. These moths are rather few in the Institute for Nature Study, only 4 geometrid and 5 noctuid species. In the winter season, such predators of moths as birds and reptiles are scarce and it is not a breeding period for them. Their activity of predation will be very low in the winter, and those moths have rather weak photoactivity, especially in noctuids. It is worth noting that larvae of most winter moths are polyphagous on broadleaved trees, while most of the extinct notodontid moths are oligophagous. It should be stressed that the host plants of those extinct notodontids are now abundant in these large green tracts in Tokyo.

The butterfly fauna of the Akasaka Imperial Gardens is rich and very similar to those of the Imperial Palace and the Institute for Nature Study, Tokyo.

#### 引用文献

- 藤沢勝利, 2002. 日本産 *Promalactis* 属について. 蛾類通信, (218): 337-350.
- Gaedike, R., 2000. New and interesting moths from the east Palaearctic (Lepidoptera: Tineidae), contribution to the knowledge of eastern Palaearctic insects (11). *Beitr. Ent.*, **50**: 357-384.
- 行徳直巳, 1983. ミナミクロホシフタオ新産地と食餌植物. *Korasana*, (21): 1-12.
- 日高敏隆, 2003. 東京モンシロ・スジグロ物語. 国立科博ニュース, (416): 3.
- 久居宣夫・矢野 亮, 2001. 自然教育園の蝶類. 自然教育園報告, (33): 235-249.
- 久居宣夫・矢野 亮・久保田繁男, 2000. 皇居の蝶類. 国立科博専報, (36): 169-183.
- 井上 寛, 1982. コバガ科. 井上 寛, 杉 繁郎, 黒子 浩, 森内 茂, 川辺 湛, [大和田守], 日本産蛾類大図鑑, **1**: 660-668; **2**: pl. 54. 講談社, 東京.
- 石井 実・山田 恵・広渡俊哉・保田淑郎, 1991. 大阪府内の都市公園におけるチョウ類群集の多様性. 環動昆, **3**: 183-195.
- 亀田 満, 2001. 北海道産マルハキバガ科の記録 IV. 誘蛾灯, (165): 83-89.
- 川辺 湛, 1982. ハマキガ科・ホソハマキガ科. 井上 寛・杉 繁郎・黒子 浩・森内 茂・川辺 湛・[大和田守], 日本産蛾類大図鑑, **1**: 62-158, **2**: pls. 14-31. 講談社, 東京.
- 川原 進, 2000. 北海道小清水町の蛾 6. 誘蛾燈, (159): 5-12.
- 河合省三, 2000. 皇居のカイガラムシ相. 国立科博専報, (36): 57-82.
- Kumata, T., 1982. A taxonomic revision of the *Grachillaria* group occurring in Japan (Lepidoptera: Glacillariidae). *Insecta matsum.*, (N. S.), **26**: 1-186.
- Kumata, T., H. Kuroko & V. P. Ermolaev, 1988a. Japanese species of the *Acrocercops*-group (Lepidoptera: Glacillariidae), Part I. *Insecta matsum.*, (N. S.), **38**: 1-111.
- Kumata, T., H. Kuroko & V. P. Ermolaev, 1988b. Japanese species of the *Acrocercops*-group (Lepidoptera: Glacillariidae), Part II. *Insecta matsum.*, (N. S.), **40**: 1-133.
- 前波鉄也, 1967. セミヤドリガの一生. インセクタリアム, **4**: 24-25.
- 間野隆弘・原田敏彦, 1997. 愛知県三河山間地で採集した蛾類. 誘蛾燈, (148): 49-58.
- 文部省国立自然教育園(編), 1952. 国立自然教育園動物目録, 第1集, 昆虫綱. 国立自然教育園基礎資料, (1): 1-42.
- [Monbusho National Institute for Nature Study (ed.), 1952. List of animals from the National Institute for Nature Study, Series 1, *Insecta. Natn. Inst. Nature Study Kisoshiryō*, (1): 1-42.]
- 村瀬ますみ, 1993. 和歌山県未記録をふくむ蛾類の採集と飼育 II. 南紀生物, **35**: 141-144.

- 村瀬ますみ, 1994. 和歌山県未記録をふくむ蛾類の採集と飼育 III. 南紀生物, **36**: 57-59.
- 村瀬ますみ, 2002. ホソバヤママメイガの新食草. 蛾類通信, (221): 399.
- 中島秀雄, 1983. 丹沢山塊(神奈川県)の蛾類. 日本私学教育研究所調査資料, (100): 1-82.
- 中島秀雄, 1986. 冬尺蛾, 厳冬に生きる. 221 pp., 6pls. 築地書館, 東京.
- Nakajima, H., 1991. Two new species of the genus *Operophtera* (Lepidoptera, Geometridae) from Japan. *Tyô to Ga*, **42**: 195-205.
- 中島秀雄, 1998. 日本産フユシャクガ類(鱗翅目, シャクガ科)の分類学的, 生態学的研究. *Tinea*, **15** (Suppl. 2): 1-246.
- 中村正直, 1988. ホソバヤママメイガ?の幼生期. 北九州の昆虫, **35**(1): 13-15.
- 奥 俊夫, 2003. 岩手県の小蛾類. 岩手蟲之會會報特別号, (2): 1-157.
- 大和田守, 2004. 皇居の調査でわかった多摩の里の蛾類相の変遷. 多摩のあゆみ, (114): 24-33.
- 大和田守・有田 豊・神保宇嗣, 2001. 自然教育園の蛾類. 自然教育園報告, (33): 251-280.
- [Owada, M., Y. Arita & U. Jinbo, 2001. Moths of the garden of the Institute for Nature Study, Tokyo. *Misc. Rep. Inst. Nature Study, Tokyo*, (33): 251-280.]
- 大和田守・有田 豊・岸田泰則・池田真澄・神保宇嗣, 2000. 皇居の蛾類. 国立科博専報, (36): 115-168.
- [Owada, M., Y. Arita, Y. Kishida, M. Ikeda & U. Jinbo, 2000. Moths of the garden of the Imperial Palace, Tokyo, central Japan. *Mem. natn. Sci. Mus. Tokyo*, (36): 115-168.]
- 自然環境研究センター(編), 2003. 新宿御苑動物相調査報告書. 34 pp. (財)自然環境研究センター, 東京.
- Park, K. T., 1992. Systematics of the subfamily Gelechiinae (Lep., Gelechiidae) in Korea II. Tribe Teleiodini. *Insecta koreana*, **9**: 1-33.
- Park, K. T., 1995. Gelechiidae (Lepidoptera) of Taiwan, II. *Hyatima* and allies, with descriptions of a new genus and five new species (Lepidoptera: Gelechioidea). *Trop. Lepid.* **6**: 67-85.
- Park, K. T., 2004. Lepidoptera, Gelechiidae and Lecithoceridae. *Insecta koreana*, (Suppl. 28): 1-151.
- Puplesis, R. & A. Diškus, 2003. The Nepticuloidea and Tischerioidea (Lepidoptera) a global review with strategic regional revisions. 512 pp. Apollo Books, Stenstrup.
- Robinson, G. S., 1986. Fungus moths: a review of the Scardiinae (Lepidoptera, Tineidae). *Bull. Br. Mus. nat. Hist.*, (Ent.), **52**: 37-181.
- 斉藤洋一, 2003. 東京都足立区でピロードハマキを採集. 房総の昆虫, (30): 36.
- Sakai, M. & T. Saigusa, 2002. Revisional study of the genus *Crypsithyris* Meyrick, 1907 (Tineidae, Tineinae) in Japan. *Trans. lepid. Soc. Japan*, **53**: 69-82.
- Sakamaki, Y., 1996a. Notes on Japanese species of the genus *Monochroa* with descriptions of two new species. *Jap. J. Ent.*, **64**: 245-254.
- Sakamaki, Y., 1996b. A revision of the Japanese species of the genus *Monochroa* (Lepidoptera, Gelechiidae). *Trans. lepid. Soc. Japan*, **47**: 243-265.
- 桜井信夫・久居宣夫・夏目節子, 1972. 自然教育園の蝶類について. 自然教育園報告, (3): 27-33.
- Sinev, S. Y., & K. T. Park, 1994. A preliminary list of Stathmopodidae, Batrachedridae, Blastodacnidae and Cosmopterigidae (Lepidoptera: Gelechiidae [sic]) of the Korean Peninsula. *Korean J. appl. Ent.*, **33**: 194-200.
- 里山昆虫研究会, 2003. 多摩川中流域の丘陵部における里山昆虫の研究, 資料編 II. 121 pp. 里山昆虫研究会, 東京.
- 自然環境研究センター(編), 2003. 新宿御苑動物相調査報告書. 34 pp. (財)自然環境研究センター, 東京.
- Takami, Y., Ch. Koshio, M. Ishii, H. Fujii, T. Hidaka & I. Shimizu, 2004. Genetic diversity and structure of urban populations of *Pieris* butterflies assessed using amplified fragment length polymorphism. *Molec. Ecology*, **13**: 245-258.
- Ueda, T., 1997. A revision of the Japanese species of the genus *Anarsia* Zeller (Lepidoptera, Gelechiidae). *Trans. lepid. Soc. Japan*, **48**: 73-93.
- Ueda, T., T. Ohno & T. Hirowatari, 1999. The occurrence of *Chorivalva bisaccula* Omelko (Lepidoptera, Gelechiidae) in Japan. *Trans. lepid. Soc. Japan*, **50**: 57-59.
- 山本光人・中臣謙太郎・佐藤力夫・中島秀雄・大和田守, 1987. 杉繁郎編, 日本産蛾類生態図鑑. [1]-304 pp., 1-120 pls., 427-453 pp. 講談社, 東京.
- Yamanaka, H., 2004. Two new species, three unrecorded species, and three new synonyms of the Phycitinae from Japan (Pyralidae). *Tinea*, **18**: 184-191.
- 山崎秀雄・斉藤洋一, 2003. ピロードハマキ千葉県市川市の記録. 房総の昆虫, (30): 6.